

取扱説明書

(保証書別添)

CASIO

カシオ電子レジスタ

TE-300



このたびは、カシオ電子レジスタをご採用いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書をひととおりお読みいただき、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
取扱説明書は、お読みになった後も、わかりやすいところに大切に保管して

ください。

初めてお使いになる場合は、

まず、**設置手順** (12 ページ) と

用語集 (88 ページ) をご覧ください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

特長

- 一度、日付・時刻をセットすると、日付は自動更新されます。



- 抗菌処理されたキーボードで清潔に保つことが可能です。



SIAA マークは JIS Z 2801 に適合し、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

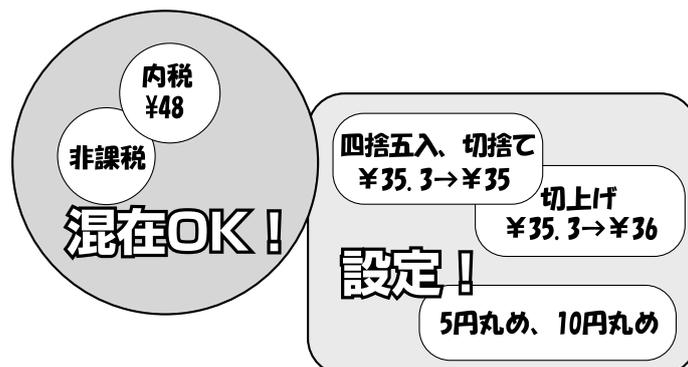
- お客様にも見やすい「客用背面表示器」が付いているため、お客様と同時に金額を確認することができます。



- 別売の電子店名スタンプを作成していただくと、レシート上の店名ロゴスタンプだけでなく、領収書上の社名ロゴや住所などがワンタッチで印字できます。



- 消費税の計算は、「内税方式」「非課税方式」に対応しています。内税と非課税が混在した運用も可能です。また、消費税額の円未満の端数処理（四捨五入、切上げ、切捨て）を設定することができます。さらに請求額の端数を切り捨てて請求（5円丸め、10円丸め）するといった、さまざまな設定が可能です。



もくじ

ページ

○安全上のご注意	4	ご使用前に
○やりたいことは？	6	
○各部のなまえと働き	8	
○お使いになる前の準備.....	12	
○基本的な操作	16	使い方
○操作をまちがえたとき.....	22	
○閉店後の操作	26	
○各キーの便利な使い方.....	28	便利な使い方
○売上の点検／精算	42	
○電卓機能の使い方	48	
○時刻および日付のセット	50	設定の仕方
○単価・割引率・丸めの設定	51	
○消費税の設定	54	
○商品名やメッセージの設定	58	
○その他の設定	69	
○レジの設定内容の確認.....	76	
○故障かなと思ったら	78	こんなときは
○ロールペーパーのセットと交換.....	79	
○部門キーなどに商品名を記入するには	84	
○ドアを分離して設置するには.....	85	
○仕様.....	87	
○用語集.....	88	

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。
- ⚠ 警告と ⚠ 注意の意味は以下のとおりです。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 <u>人が死亡または重傷を負うおそれがある</u> 内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 <u>人が傷害を負ったり、物的損害が発生するおそれがある</u> 内容を示しています。

- 本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。

	△ 記号は「気をつけるべきこと＝注意」を意味しています。 左の例は「手挟み注意」です。△ は「指ケガ注意」です。
	⊘ 記号は「してはいけないこと＝禁止」を意味しています。 左の例は「分解禁止」です。⊘ は「接触禁止」です。 なお、「絵に表わしにくい禁止」は ⊘ で表わします。
	● 記号は「しなければならないこと＝指示」を意味しています。 左の例は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」です。 なお、「絵に表わしにくい指示」は ● で表わします。

警告

電源コードや差し込みプラグについて <ul style="list-style-type: none"> ◆ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたりしないでください。 ◆ 電源コードは、ねじったり、引っばったり、加熱したり、加工したり、上に重い物を乗せたりしないでください。また、電源コードが本機の引き出し(ドロア)の下を通るような配線はしないでください。 電源コードが破損して、火災や感電の原因になることがあります。 ◆ <u>濡れた手で差し込みプラグに触れない</u>でください。感電のおそれがあります。 	内部に異物や水などを入れないでください <ul style="list-style-type: none"> ◆ 本機の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本機の内部にこぼさないでください。火災や感電の原因となることがあります。 ◆ 万一、異物や水などが本機の内部に入った場合は、<u>差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。</u>そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
キャビネットは開けないでください <ul style="list-style-type: none"> ◆ 本機のキャビネットを開けないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分がありますので、感電をしたり、ケガをするおそれがあります。 ◆ 本機を改造しないでください。火災や感電の原因となることがあります。 	電源・電圧について <ul style="list-style-type: none"> ◆ 表示された電源電圧（交流 100 V）以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。 火災や感電の原因となることがあります。
本機を落としたり、破損したときは <ul style="list-style-type: none"> ◆ 万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、<u>差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。</u>そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。 	異臭や煙などの異常状態には <ul style="list-style-type: none"> ◆ 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、<u>火災や感電のおそれがあります。すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。</u>そして、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。

⚠ 注意

設置場所について



- ◆ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、ケガの原因となることがあります。
- ◆湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- ◆調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

本機の上には物を置かないでください



- ◆本機の上に、花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、または、金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となることがあります。
- ◆本機の上に重い物を置かないでください。置いた物のバランスが崩れて倒れたり、落下して、ケガの原因となることがあります。

差し込みプラグを抜くときは



- ◆差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

移動する場合は



- ◆本機の移動は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて行なってください。電源コードを引っぱると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは



- ◆連休等で、長期間本機をご使用にならないときは、安全のために差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

ドロア（引き出し）の注意



- ◆ドロア（引き出し）が開く際、お子様の顔等に当たらないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。
- ◆ドロア（引き出し）が開いているときに、ドロアに寄りかからないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

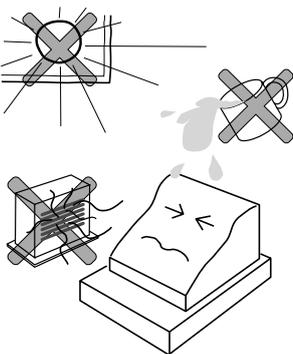
消耗品交換時の注意



- ◆記録紙交換等の際に、プリンタのギアに髪の毛やスカーフ等が巻き込まれないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。
- ◆プリンタのヘッド部分には触れないでください。ケガやヤケドの原因になることがあります。

お願い（必ず守ってください）

- 温度が高くなる所や、水がかかるところには置かないでください。



- ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。



- 揮発性の液体でレジスタを拭かないでください。



- 1日の終わりには、精算をしてドロア（引き出し）内をカラにし、開けたままでお帰りください。ドロアは金庫ではありません。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

やりたいことは？

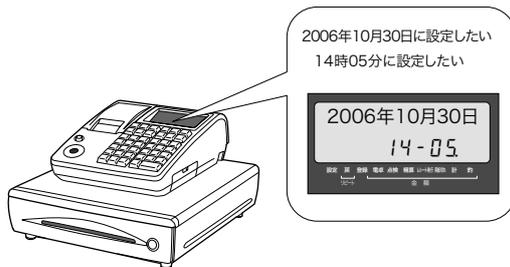
本機でできることを操作の単位で分類しています。

ここから、お客様が行ないたい操作の記載ページを参照することができます。

必要に応じてご利用ください。

●日付や時刻を設定したい。

参照  50 ページ



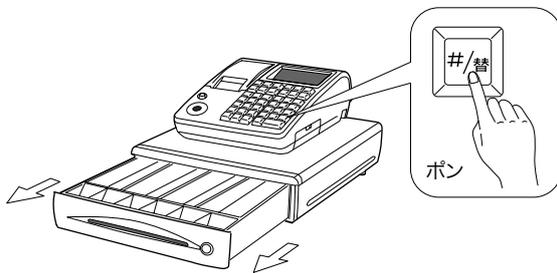
●基本的な操作について知りたい。

参照  16 ページ



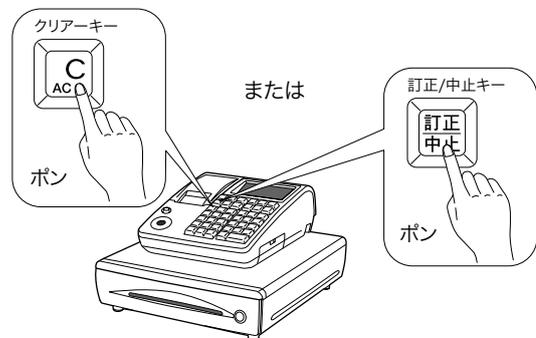
●ドローアを開けたい。

参照  18 ページ



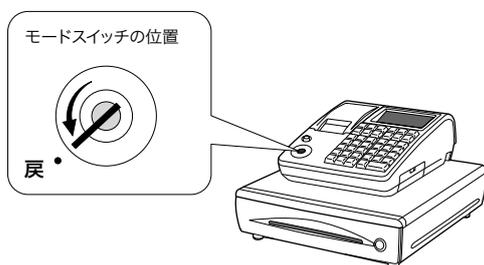
●キー操作をまちがえたので、訂正したい。

参照  22 ページ



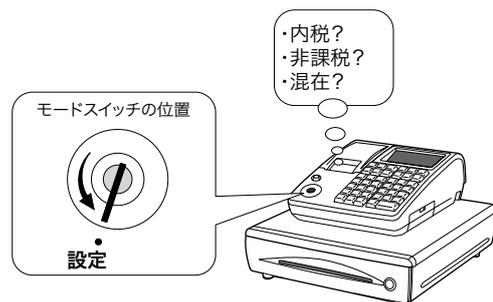
●商品の返品処理をしたい。

参照  24 ページ



●消費税に関する設定をしたい。

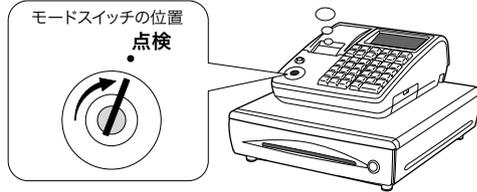
参照  54 ページ



●現時点の売上内容を確認したい。

参照  44 ページ

- ・現時点での売上は？
- ・現時点での現金在高は？



●閉店後に行なう操作について知りたい。

参照  26 ページ

モードスイッチの位置



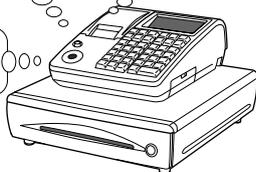
●電卓として使いたい。

参照  48 ページ

658÷3=?

(98-7)×651=?

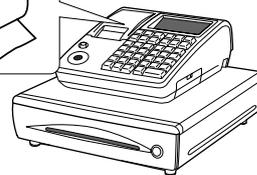
2500円の15%
引きは？



●ロールペーパーをセットしたり、交換したい。

参照  79 ページ

ロールペーパー



●電子店名スタンプ（別売）の装着方法を知りたい。

参照  83 ページ



●トラブルを解決したい。

参照  78 ページ



- レシート・ジャーナルの見方を知りたい。
- 値引き・割引をしたい。
- 現在のレジの設定内容を確認したい。
- 単価・割引率・丸めの設定をしたい。
- レシートにメッセージを印字したい。
- 部門に分類名や商品名を印字したい。
- 登録確認音（キー確認音）を消したい。

参照  14, 15 ページ

参照  35, 36 ページ

参照  76, 77 ページ

参照  52 ページ

参照  61 ページ

参照  58 ページ

参照  53 ページ

各部のなまえと働き (1/3)

各部のなまえ

① ロールペーパー (紙押さえの下)

金額や操作内容を印字する用紙です

② ジャーナル巻き取りホルダ

印字された用紙を「営業記録」としてお店に保管しておくときに使用します

③ 紙押さえ (プラテンアーム)

カチッとロックされるまで、きちんと閉じてお使いください。完全に閉じていないと印字が行われず、レジスタが動作しません。

④ プリントオープンキー

ロール紙の交換などのため、プリンタを開けるときに使用します

⑤ ジャーナルカバー

プリンタ上部のジャーナル巻き取りホルダ部を覆うためのカバーです。

⑥ 印字確認窓

ジャーナルとしてお使いの場合、この窓から操作内容を確認することができます。

⑦ 客用背面表示

⑧ 表示窓

⑨ モードスイッチ

⑩ キーボード

⑪ 差し込みプラグ

⑫ 電源コード



⑬ 紙幣入れ (3箇所)

⑭ 硬貨入れ (6箇所)

⑮ ドロア (引き出し)

⑯ ドロアロック錠

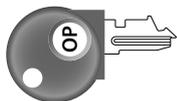
モードスイッチ

付属の「モード鍵」で、モードスイッチ (レジスタの働き) を切り替えます。

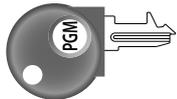
モード鍵は鍵により回せる範囲が異なりますが、抜き差しできる位置は「登録」と「OFF」の2箇所だけです。

モード鍵

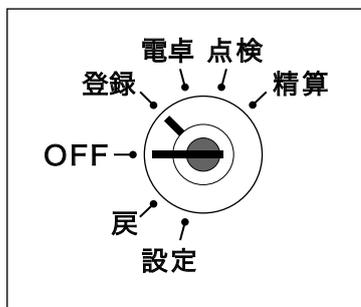
① オペレータ用鍵 (OP)



② オーナー用鍵 (PGM)



モードスイッチ



- 「精算」..... 売上の精算を行なうとき
- 「点検」..... 売上の点検を行なうとき
- 「電卓」..... 電卓で計算を行なうとき
- 「登録」..... 売上の登録を行なうとき
- 「OFF」..... レジを使用しないとき
- 「戻」..... 返品 (戻し) を行なうとき
- 「設定」..... お店に合わせて設定を行なうとき

モード鍵の回せる範囲

① オペレータ用鍵

② オーナー (精算・設定) 用鍵

設定 戻 OFF 登録 電卓 点検 精算

× × ○ ○ × × ×

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○



本書では、ページの右上にモードスイッチの位置を、絵表示で掲載しています。
この絵表示は、そのページで説明している操作をするときの、モードスイッチの位置を示しています。
右上の例では、モードスイッチの位置を「登録」に合わせてから操作する必要があることを意味しています。

本書での
記載例 ➡

モードスイッチの位置

登録

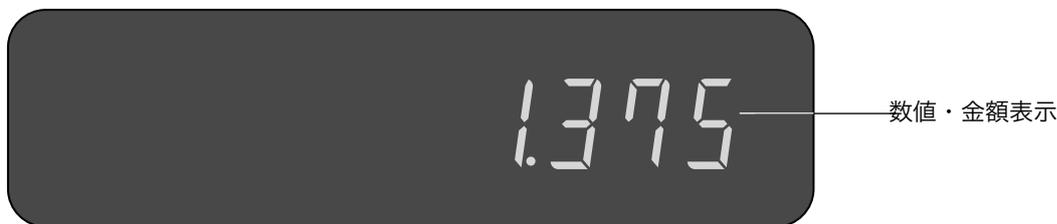


表示窓 / 客用表示窓の見方

表示窓（本体表示）



客用表示窓



●キャラクター（文字）表示

文字（キャラクター）で最大 16 文字（半角文字の場合、漢字では最大 8 文字）、表示します。

●数値・金額表示

金額や数量などを表示します。電卓機能のときは、計算数値を表示します。

●モードスイッチ位置・合計 / お釣りの操作状態表示

モードスイッチの位置および、合計やお釣りをそれぞれのシンボル（■）で表示します。

「レシート発行」が点灯しているとレシートを発行します。

印字用紙が無くなった場合「用紙切れ」が点灯します。用紙を交換してください。

●リピート回数表示

リピート登録のとき、その回数の下 1 桁を表示します。



表示例はイメージであり、実際の表示と、行間・字間・書体が異なります。

付属品

梱包箱の内蓋をご覧ください。

ご使用前に

使い方

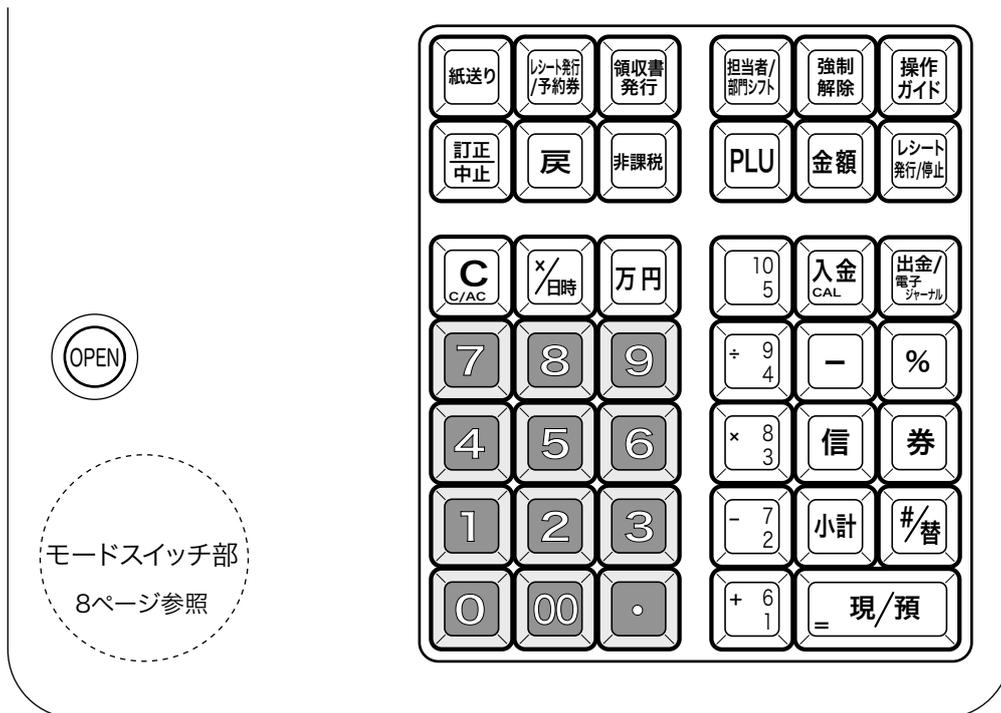
便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各部のなまえと働き (2 / 3)

キーボード



- 紙送り** 紙送りキー 印字用紙を空送りします。
- レシート発行/予約券** レシート / 予約券発行キー ... 後レシートまたは予約券を発行します。
- 領収書発行** 領収書発行キー 領収書を発行します。
- 訂正中止** 訂正 / 中止キー 直前訂正、または、取引中止のときに押します。
- 戻** 戻しキー 返品戻しのときに押します。
- 非課税** 非課税キー 非課税商品を登録するときに押します。
- C G/AC** クリアキー 数字を入れまちがえたときに押します。電卓機能のときは、2 回続けて押すと「オールクリア」(ゴハサン) の働きになります。
- x/日時** 乗算 / 日時キー 乗算登録、または、時刻・日付を表示するときに押します。
- 万円** 万円キー 万円札を預かったときに押します。
- 1 ~ 9、0、00、.** 置数キー 数値を入れるときに押します。
- 責任者/部門シフト** 担当者 / 部門シフトキー 担当者の指定、または、部門のシフトをするときに押します。
- 強制解除** 強制解除キー 2 回続けて押すとエラーを強制的に解除します。
- 操作ガイド** 操作ガイドキー 使い方が分からなくなったときに押します。印字される操作ガイドをご参照ください。
- PLU** PLU キー PLU 機能を使用するときに PLU 番号を入れてから押します。
- 金額** 金額キー 品番 PLU 機能のときに単価を入れてから押します。

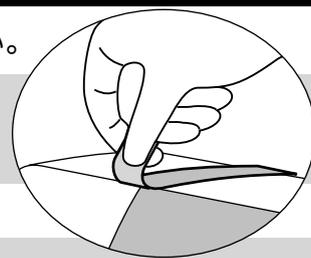
- レシート発行/停止** レシート発行 / 停止キー モードスイッチが「登録」または「戻」のときに、お客様用のレシートを発行するか／しないかをこのキーで切り替えます。レシート発行のシンボルが点灯しているときには、レシートを常に「発行」します。「発行」状態のときにこのキーを2度続けて押すとレシート発行のシンボルが消えてレシート発行は「停止」になります。「停止」状態でのこのキーの2度押しで「発行」状態になります。
- + 6 1** ~ **10 5** 部門キー 個々の商品を登録するときに押します。
+ 6 1 ~ **÷ 9 4** の部門キーは、電卓機能のときは「+」「-」「×」「÷」の計算命令キー になります。
- 入金 CAL** 入金キー 入金のときに押します。
 電卓機能とレジ機能の間で、「答」などのやり取りにも使います。
- 出金/電子ジャーナル** 出金 / 電子ジャーナルキー 出金のときに押します。また電子ジャーナルレポートを発行するときに押します。
- マイナスキー 値引きのとき押します。
- %** パーセントキー 割引きのとき押します。
- 信** 信用売りキー 信用売り（クレジットカード）での売上のとき押します。
- 券** 券売りキー 商品券での売上のとき押します。
- 小計** 小計キー 登録金額の合計（中間合計）を見るときに押します。
- #/替** ノンアド / 両替キー ノンアド印字、または、両替をするときに押します。
- 現/預 =** 現金売り / 預かり金キー 登録の完了（現金での売上）および預かり金のときに押します。
 電卓機能のときは、「=」になります。
- OPEN** プリンタオープンキー 用紙交換などプリンタを開けるときに押します。

お使いになる前の準備 (1 / 2)

設置手順

本機を初めてお使いになる場合は、以下の手順に従ってセットしてください。

- 1** 梱包箱の中から機械本体を含む、すべての付属品を取り出し、本体などに止めてある保護テープをはがします。

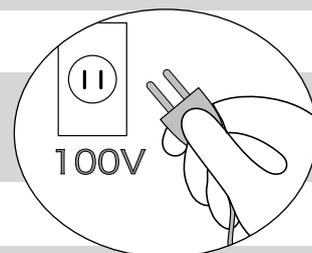


- 2** 袋の中から付属品を取り出し、全部そろっているか、確認します。
参照 **付属品** (梱包箱の内蓋)

- 3** レジスタを水平な設置場所に置きます。

- 4** ロールペーパー (印字用ロール紙) を取り付けます。
参照 **ロールペーパーをセットする** (79 ~ 80 ページ)

- 5** 差し込みプラグを家庭用 100V コンセントに確実に差し込みます。



- 6** 乾電池 (別途ご購入ください) を取り付けます。
参照 **乾電池をセットする** (86 ページ)

- 7** モードスイッチにモード鍵を差し込み「登録」の位置に合わせます。



- 8** 日付と時刻をセットします。
参照 **日付・時刻をセットする** (50 ページ)



必要に応じて、以下の設定をします。

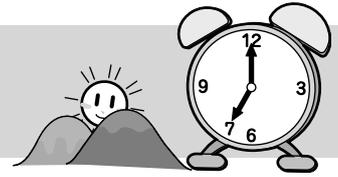
- 参照 「単価・割引率・丸めの設定」 (51, 52 ページ)
- 参照 「消費税の設定」 (54 ~ 57 ページ)
- 参照 「商品名とメッセージの設定」 (58 ~ 61 ページ)
- 参照 「その他の設定」 (69 ページ~)

- 9** これでレジスタが使える状態になります。
添付のパソコンソフトをお使いのときは、CD をパソコンに入れ、画面の指示に従います。

一日の仕事の流れ

一日の仕事の流れについて、以下に示します。

開店前



☑差し込みプラグがコンセントに確実に差し込まれているか。確認します。

☑ロールペーパーが充分にあるか、確認します。

参照☞ **ロールペーパーを交換する** (81, 82 ページ)

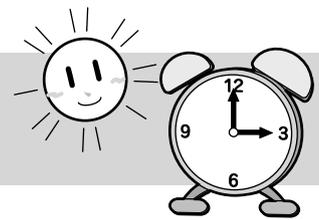
☑日付と時刻を確認します。

参照☞ **時刻および日付を表示する** (32 ページ)

☑釣銭用の小銭をドロアに用意します。

参照☞ **売上に関係ない現金をドロアに入れる** (34 ページ)

営業中



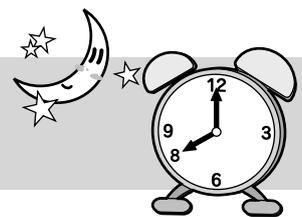
☑商品の売上を登録します。

「基本的な操作」 (16 ページ～)

☑必要に応じて、売上の確認をします。

「売上内容の点検」 (42～47 ページ)

閉店後



☑一日の売上を打ち出します。

参照☞ **一日の売上を打ち出す。** (26 ページ)

☑ドロア内のお金を取り出します。

☑モードスイッチを「OFF」にします。

今日も一日、お疲れ様でした。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前の準備 (2 / 2)

消費税の計算方式

消費税の計算には、次の2つの課税方式があります。

① 内税方式	② 非課税方式
商品金額に消費税5%が含まれているものを販売する方式	消費税を計算しない（消費税を課税しない）で販売する方式
例：価格 1,000 円	例：価格 1,000 円
(本体価格 952 円	(本体価格 1,000 円
消費税額 48 円	消費税額 0 円
合計 1,000 円 受取	合計 1,000 円 受取

ポイント ・ご購入時は、「①内税方式」に設定されています。また、税額の円未満は「四捨五入」に設定されています。

消費税の設定について

お店の課税方式に合わせて、それぞれ以下のように消費税の設定を行なってください。

●内税方式のお店は……

このままご使用いただけます。

●非課税方式のお店は……

参照 **すべての商品を非課税扱いにする** (54 ページ)

●内税と非課税とが混在するお店は……

参照 **内税 / 非課税を混在して設定する** (56 ページ)

領収書

領収書宛先

2006年07月31日

領収書

様

領収金額

一連 No000008 領収書一連番号

領収 No000002 領収書連番号

税金項目

税抜金額 ¥33,137-

消費税等 ¥657-

印

正に領収致しました)

収入印紙

カシオ商店

渋谷区本町 1-6-2

電話 1234-5678

印刷面を内側に折って保管願います

領収書用社名スタンプ、会社所在地 (これらは電子店名スタンプを使用します)

レシート／ジャーナル／領収書の見方

このレジスタは、レシートかジャーナル（営業記録）かのどちらかを選んで使用することができます。お買い上げ後はレシートとして印字されます。

- ・レシートには、別売の電子店名スタンプをセットしていただくと、頭の店名ロゴ部分にお客様のロゴやメッセージの印字が可能です。 **参照** (83 ページ)
 ロールペーパーをレシートとしてセットします。 **参照** (79 ページ)
- ・ジャーナルはお店の営業記録として、レジスタ内に巻き取られます。「ジャーナル印字用」と設定し、ロールペーパーをジャーナルとしてセットします。 **参照** (52, 80 ページ)

レシート（ジャーナル）の見方

レシート（ジャーナル）には、レジの操作内容が印字されますが、消費税の設定（内税方式 / 非課税方式）によって、印字される内容が異なります。ここでは、レシート（ジャーナル）の見方について説明します。

レシート

カシオ商店		店名ロゴ部分
渋谷区本町 1-6-2 電話 1234-5678		
日付/時刻	2006-07-31 09:23	
レジ担当者	担当 -01 0001-000008	レジ番号/一連番号
部門登録	部門 02 ¥5,780 部門 01 ¥360 部門 01 ¥360 部門 01 ¥360	
個数/単価	10 点 @128	
乗算登録	部門 04 ¥1,280	
PLU 登録	PLU0027 ¥880	
値引き	-100	
	部門 03 ¥2,600	非課税シンボル
	部門 04 非 ¥3,000	
小計	小計 ¥14,520	
割引	5%	
	% -726	
内税対象額	内税対象計 ¥10,944	
内税額	内税 5.0% ¥521	
非課税額	非課税合計 ¥2,850	
合計額	合計 ¥13,794	
預かり額	お預り ¥15,000	
釣り銭額	お釣 ¥1,206	
買上点数	17 点	
ホトムッセージ	またのご来店を お待ちしております	

ジャーナル（縮小印字例）

担当 -01	2006-07-31 09:23	0001-000008
部門 02		¥5,780
部門 01		¥360
部門 01		¥360

ジャーナル（通常印字例）

部門 01	10 点	¥360 @128
部門 04	PLU0027	¥1,280 ¥880
	-	-100
部門 03		¥2,600
部門 04	非	¥3,000
小計	5%	¥14,520
	%	-726
内税対象計		¥10,944
内税	5.0%	¥521
非課税合計		¥2,850
合計		¥13,794
お預り		¥15,000
お釣		¥1,206
担当 -01	2006-07-31 09:23	0001-000009
	一連 No	000008
	領収 No	000002
領収書		¥13,794



・「ジャーナル（営業記録）」は、ジャーナル巻き取りホルダに巻き取ったあとに、お店に保管します。



注意 本書で紹介しているジャーナル/レシートの印字例は、イメージしやすいように、見やすく記述しています。そのため、実物のジャーナル/レシートと、行間・字間・書体が異なります。

また、お買い上げの状態ではレジ担当者は使用できません。必要な場合は 41 ページをご参照ください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的なレジの操作 (1 / 2)

本書での説明は、「税率 5% の内税方式」の消費税計算（円未満は「四捨五入」）に基づいた操作方法、および、レシートの印字例を記載しております。

内税方式だけではなく、非課税方式や内税方式と非課税方式が混在している場合は、操作方法是変わりありませんが、印字される内容は異なりますのでご注意ください。

注意 印字例は「レシート」に設定した場合です。 以後の印字例も同様です。
なお、「ジャーナル」に設定した場合は、15 ページのジャーナル例のように、店名記載部の余白がなく、時刻／一連番号の後および合計の前にそれぞれ 1 行分の空きが詰められます。

1 品のお買い上げ

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,200	1	部門 1	¥2,000

手順

印字例

1 商品の単価と部門キーを押します。

1 2 0 0 + 1



2 **小計** キーを押します。

小計



3 預かり金額を入力して **現/預** キーを押します。

2 0 0 0 現/預



御計算書

2006-07-31 09:20
000013

部門 01	¥1,200
内税対象計	¥1,200
内税 5.0%	¥57
合計	¥1,200
お預り	¥2,000
お釣	¥800

レシート印字例は、ご購入時の標準状態での印字例です。
なお、以後のレシート印字例では、店名ロゴ部分を省略します。

ポイント 部門 6～10 に登録する場合は、単価を入力する前に **責任者/部門シフト** キーを押します。これを「部門シフト」といいます。
部門シフトの使い方は 29 ページを参照してください。

注意 レジ担当者機能を使う場合は商品登録に入る前にレジ担当者を指定する必要があります。(41 ページ参照)

2品以上のお買い上げ

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥300	1	部門 1	¥2,500
¥800	1	部門 2	
¥1,000	1	部門 3	

手順

印字例

- 1 商品の単価と部門キーを押します。商品の数だけ繰り返します。

3 0 0 + 6 1

8 0 0 - 7 2

1 0 0 0 × 8 3

- 2 商品をすべて入力したら **小計** キーを押します。

小計

- 3 預かり金額を入力して **現/預** キーを押します。

2 5 0 0 現/預

2006-07-31 09:35		000014
部門 01	¥200	
部門 02	¥800	
部門 03	¥1,100	
内税対象計	¥2,100	
内税	5.0%	¥100
合計	¥2,100	
お預り	¥2,500	
お釣	¥400	

同じ商品を数多くお買い上げ

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥200	12	部門 1	¥10,000
¥340	4.6	部門 3	

手順

印字例

- 1 商品の数量、**×/日時**、単価、部門キーの順に押します。

1 2 ×/日時 2 0 0 + 6 1

4 . 6 ×/日時 3 4 0 - 7 2

- 2 商品をすべて入力したら **小計** キーを押します。

小計

- 3 預かり金額 (万円券キー) を入力して **現/預** キーを押します。

万円 現/預

2006-07-31 09:41		000017
12 点	@200	
部門 01	¥2,400	
4.6 点	@340	
部門 02	¥1,564	
内税対象計	¥3,964	
内税	5.0%	¥189
合計	¥3,964	
お預り	¥10,000	
お釣	¥6,036	



乗算登録の「数量」は「0.01 ~ 9999.99」です。

乗算登録は「数量×単価」がご購入時の標準状態ですが、「単価×数量」とすることもできます。(28, 73 ページ)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的なレジの操作 (2/2)

同じ商品を複数お買い上げ

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥300	3	部門2	¥2,000
¥500	2	部門1	

手順

印字例

1 商品の単価と部門キーを押します。商品の数量だけ、該当キーを押します。

3 0 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} 7 \\ - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$ $\left[\begin{smallmatrix} 7 \\ - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$ $\left[\begin{smallmatrix} 7 \\ - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$

300 ← (金額表示のみを記載しています)

2 300

3 300

リピート回数

2006-07-31 09:50
000017

部門 02	¥300
部門 02	¥300
部門 02	¥300
部門 01	¥500
部門 01	¥500
内税対象計	¥1,900
内税 5.0%	¥90
合計	¥1,900
お預り	¥2,000
お釣	¥100

2 商品の単価と部門キーを押します。商品の数量だけ、該当キーを押します。

5 0 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} 6 \\ + \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$ $\left[\begin{smallmatrix} 6 \\ + \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$

500

2 500

3 $\left[\begin{smallmatrix} \text{小計} \end{smallmatrix} \right]$ キーを押します。

$\left[\begin{smallmatrix} \text{小計} \end{smallmatrix} \right]$

1900

4 預かり金額を入力して $\left[\begin{smallmatrix} \text{現/預} \end{smallmatrix} \right]$ キーを押します。

2 0 0 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} \text{現/預} \end{smallmatrix} \right]$

100

注意 リピート回数は、10回以上のときは下1桁のみの表示となります。

両替を行なう (ドローアを開ける)

ドローアを開けるときの、または両替するときの操作を説明します。

手順

印字例

1 $\left[\begin{smallmatrix} \#/\text{替} \end{smallmatrix} \right]$ を押します。ドローアが開きます。

$\left[\begin{smallmatrix} \#/\text{替} \end{smallmatrix} \right]$

2006-07-31 09:51
000023

/ 替

ポイント 両替は、登録操作が完了しているときに、数値を入れないで $\left[\begin{smallmatrix} \#/\text{替} \end{smallmatrix} \right]$ キーを押します。



領収書発行の操作 (1 / 2)

売上レシートが発行された後に **領収書発行** キーを押すことにより、領収書を発行できます。
 なお、レシートが「停止」状態でも領収書が発行できます。

領収書 (3万円未満) の発行

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥500	10	部門4	¥30,000
¥2,000	1	部門2	
¥15,000	1	部門1	

この登録後に領収書を発行する。

手順

1 例題に示された商品登録をおこないます。

10 \times /日時 **500** \div **9**
2000 $-$ **7**
15000 $+$ **6**
 小計
3 万円 **現/預**

2 **領収書発行** キーを押します。



印字例

カシオ商店
 渋谷区本町 1-6-2
 電話 1234-5678
 2006-07-31 10:02
 000025
 10点 @500
 部門01 ¥5,000
 部門02 ¥2,000
 部門03 ¥15,000
 内税対象計 ¥22,000
 内税 5.0% ¥1,048
 合計 ¥22,000
 お預り ¥30,000
 お釣 ¥8,000

注意 領収書を発行する場合は、自店専用の電子店名スタンプを作成のうえ取り付けてください。
 電子店名スタンプはレジスタに同梱されている電子店名スタンプ申込書にご記入の上、ご発注ください。

●領収書印字例

2006年07月31日
 領収書 様
 一連 No000025
 領収 No000004
¥22,000- 税抜金額 ¥20,952-
 (但し) として 消費税等 ¥1,048-
 正に領収致しました) 印
カシオ商店 渋谷区本町 1-6-2
 電話 1234-5678
 印刷面を内側に折って保管願います
 お客様名を書き込みます
 領収額中の税額
 領収書一連番号
 レシート一連番号

但し書きは幾通りかの中から選ぶことができます。
 もし適切なものがなければ、空白を選んで手書きしてください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

領収書発行の操作 (2 / 2)

領収書 (3万円以上) 発行

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥5,550	2	部門 1	¥60,050
¥2,780	5	部門 2	
¥1,960	5	部門 3	
¥11,450	1	部門 2	
¥1,380	10	部門 1	

この登録後に領収書を発行する。

手順

1 例題に示された商品登録をおこないます。

5 5 5 0 + 6 1

+ 6 1

5 ×/日時 2 7 8 0 - 7 2

5 ×/日時 1 9 6 0 × 8 3

1 1 4 5 0 - 7 2

1 0 ×/日時 1 3 8 0 + 6 1

小計

6 万円 5 0 現/預

2  キーを押します。



印字例

カシオ商店

渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678

2006-07-31 10:06
000026

部門 01	¥5,550
部門 01	¥5,550
5 点	@2,780
部門 02	¥13,900
5 点	@1,960
部門 03	¥9,800
部門 02	¥11,450
10 点	@1,380
部門 01	¥13,800
内税対象計	¥60,050
内税	5.0% ¥2,860
合 計	¥60,050
お預り	¥60,050
お 釣	¥ 0

●領収書印字例

2006年07月31日
一連 No000026
領収 No000005

領 収 書

様

¥60,050 —

(但し として 正に領収致しました)

収入印紙
↑
収入印紙貼付欄

税抜金額
¥57,190-
消費税等
¥2,860-
印

カシオ商店

渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678
印刷面を内側に折って保管願います



領収書上の収入印紙貼付欄は設定値 (お買い上げ時は ¥30,000) 以上で自動的に印字されます。領収書発行枚数もこの設定値に連動して、収入印紙を貼付したか/貼付しなかったかで分けて集計します。印紙貼付金額設定は→ 74 ページです。



金額指定の領収書発行

手順

1 領収書の額面金額を入力し  キーを押します。

5000 

●領収書印字例

2006年07月31日	領収書	一連 No000027 領収 No000006
様		
¥5,000-		
(但し	として	印
正に領収致しました)		
カシオ商店		渋谷区本町 1-6-2 電話 1234-5678
印刷面を内側に折って保管願います		

 **ポイント** 金額指定の領収書を発行する場合は、登録操作が完了しているときに、金額を入れて  キーを押します。
この場合、税額は印字されません。

領収書発行時のレシート用紙のご注意

- 領収書を発行される場合および、ジャーナルを保存される場合は、高保存タイプのロールペーパーを使用することをお勧めします。
- 感熱紙（サーマル用紙）は、通常紙に比べて吸湿性が劣る傾向があります。このため、収入印紙貼付後や捺印後は、すぐに擦ったりしないでください。
- 感熱紙（サーマル用紙）は、強い光にさらすと、印字文字がうすくなり見えにくくなります。このため、ペーパーの保管・保存には注意してください。
- お客様にお渡しするときは、「汚れ防止」と「光から遮断」のため、印字面を内側にして2つ折りにしてお渡しください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

キー操作をまちがえたとき

「金額」や「数量」をレジスタに入れるために **1** ~ **9**、**0** および **00** の数字キーを押すことを《置数》と言います。

置数は、レジスタの表示窓に入っているだけで、内部の記憶（メモリ）にはまだ入っていません。また、乗算登録で **×/日時** キーを押したときの数量も記憶には入っていません。

置数のあとに、部門キーなどの命令キーを押すと、そのときの金額が記憶に入ります。

記憶に入る前の数値は **C/AC C** キーで、記憶に入ってしまった金額は **訂正中止** キーで消すことができます。

部門・取引キーを押す前の訂正

部門キーを押す前は、すべて **C/AC C** キーで訂正できます。

例

	単価	数量	部門キー	預かり金
①	¥120	1	部門 1	④ ¥3,000
②	¥200	5	部門 1	
③	¥105	10	部門 2	

上記登録途中での間違い。

① 単価を押しまちがえた

③ 乗算で単価をまちがえた

手順

1 **C/AC C** キーを押します。

1 2 00 C/AC C

2 正しく入力し、部門キーを押します。

1 2 0 + 6 1

手順

1 **C/AC C** キーを押します。

1 0 ×/日時 1 5 0 C/AC C

2 正しく入力し、部門キーを押します。

1 0 ×/日時 1 0 5 - 7 2

② 単価を入れて **×/日時** キーを押してしまった（数量をまちがえて **×/日時** キーを押してしまった）

④ 預かり金額をまちがえた

手順

1 **C/AC C** キーを押します。

2 0 0 ×/日時 C/AC C

2 正しく入力し、部門キーを押します。

5 ×/日時 2 0 0 + 6 1

手順

1 **C/AC C** キーを押します。

小計 **5 0 0 0 C/AC C**

2 正しく入力し、**現/預** キーを押します。

小計 **3 0 0 0 現/預**



部門キーを押したあとでの訂正

部門キーを押した直後は、**訂正/中止** キーで訂正できます。

例

	単価	数量	部門キー	預かり金
①	¥505	1	部門 1	¥2,000
②	¥230	3	部門 3	

上記登録途中での間違い。

手順

① 単価をまちがえて部門キーを押してしまった

1 **訂正/中止** キーを押します。
5 5 0 + **6** **訂正/中止**

2 正しく入力し、部門キーを押します。

5 0 5 + **6**

② 乗算で単価をまちがえて 部門キーを押してしまった

1 **訂正/中止** キーを押します。
3 **X/日時** **2 2 0** **x** **8** **訂正/中止**

2 正しく入力し、部門キーを押します。

3 **X/日時** **2 3 0** **x** **8**

3 **小計** キーを押し、預かり金を入力して **現/預** キーを押します。

小計 **2 0 0 0** **現/預**

印字例

```

2006-07-31 10:35
                                000037
部門 01                        ¥550
訂正                          -550
部門 01                        ¥505
    3 点                        @220
部門 03                        ¥660
訂正                          -660
    3 点                        @230
部門 03                        ¥690
内税対象計                      ¥1,195
内税                          5.0%  ¥57
合 計                          ¥1,195
お預り                          ¥2,000
お 釣                          ¥805
    
```

登録途中の商品すべてを取り消す

そのレシートをはじめからやり直すときは、**小計** **訂正/中止** で一括取消を行ないます。

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥350	12	部門 4	-
¥1,280	1	部門 2	

手順

1 例に示した登録をします。

1 2 **X/日時** **3 5 0** **÷** **9** **1 2 8 0** **-** **7**

2 **小計** キーを押してから、**訂正/中止** キーを押します。

小計 **訂正/中止**

印字例

```

2006-07-31 10:41
                                000040
    12 点                        @350
部門 04                        ¥4,200
部門 02                        ¥1,280
取引中止                      .....
    
```

注意 取引中止で **小計** キーを押さないと、最終行の訂正（取消）になります。
異なる商品を 49 以上登録すると、この操作ができなくなります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

返品戻しとレシート発行後の訂正

モードスイッチの位置

戻



現/預 キーを押して、レシートが発行されたあとでまちがいに気づいた場合や、商品の返品があった場合などには《返品戻し処理》を行いません。

返品戻し処理には、《取引終了後の返品》と、《取引中の返品》の2種類があります。

取引終了後の返品

すでに売り上げた（レシート発行を終えた）商品の「返品戻し」は、モードスイッチを「戻」の位置に合わせて、売上登録と同じように操作する《取引終了後の返品》を行いません。

なお、モードスイッチを「戻」にすると、表示窓の“戻”の位置にシンボル（■）が表示されます。

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥780	2	部門1	現金
¥1,280	1	部門3	

手順

- 1 戻しモードに合わせます。
- 2 例に示した登録操作を行いません。

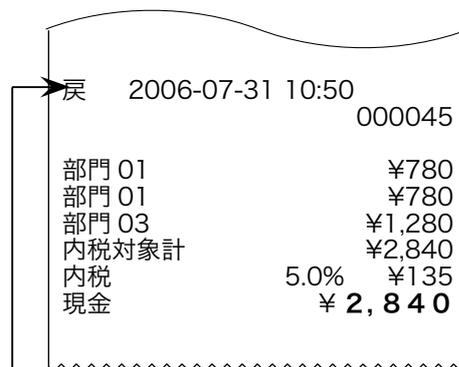
7 8 0 + 1 + 1

1 2 8 0 × 3

小計 現/預

- 3 登録モードに合わせます。

印字例



(戻しモードのしるしは担当者名、
一連番号の行に印字されます)

注意 戻しモードでの処理が終わったら、モードスイッチを「登録」の位置に戻します。

取引中の返品

現在売り上げている商品の返品処理は、モードスイッチを「登録」のままで **[戻]** キーを使って《取引中の返品》を行ないます。

[現/預] キーを押して登録を完了した後でその登録の誤りに気づいた場合は、《取引終了後の返品》を行ないます。

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥720	1	部門 4	現金
¥1,530	2	部門 2	
返品処理→¥720	1	部門 4	

手順

印字例

1 例に示した通常の商品登録を行ないます。

7 2 0 ÷ **9 4** **1 5 3 0** - **7 2** - **7 2**

2 **[戻]** キーを押して返品する商品を登録します。

[戻]

7 2 0 ÷ **9 4**

3 **[小計]** キーと **[現/預]** キーを押します。

[小計] **[現/預]**

2006-07-31 10:53		000048
部門 04	¥720	
部門 02	¥1,530	
部門 02	¥1,530	
戻	
部門 04	-720	
内税対象計	¥3,060	
内税	5.0% ¥146	
現金	¥3,060	

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

閉店後の操作

閉店後には、精算・設定・オーナー用鍵 (PGM) でモードスイッチを「精算」の位置に合わせて、その日の売上の精算を行ないます。

モードスイッチを「精算」にすると、表示窓の“精算”の位置にシンボル (■) が表示されます。

なお、精算を行ないますと、時刻、日付、各種設定内容および精算回数を除いて、印字内容が、印字し終わると同時にクリア (ゴハサン) されます。

※精算に関しては、42 ページ以降にも記載されています。

1 日の売上を打ち出す

手順

日計明細の精算は、モードスイッチを「精算」にして、**現/預** キーを押します。

印字例

精算 2006-07-31 10:53	日付 / 時刻
0001-000048	マシン番号 / 一連番号
0000 日計明細	Z 0002
	レポートタイトル、コード / 精算シンボル / 精算回数
部門 01	505 点
44.04%	¥231,167
部門 02	411 点
39.75%	¥208,689
部門 03	32 点
2.72%	¥14,207
ノンリンク	15 点
1%	¥5,283

総売	1060 点
	¥524,966
純売	158 件
	¥498,747
現金在高	¥405,361
券在高	¥2,890
信在高	¥37,405
内税対象計	¥330,584
内税 5.0%	¥15,742
非課税合計	¥153,051
万円	17 枚
サービス	¥376
取引中止	2 件
	¥297
戻モード	1 件
	¥6,372
電卓	18 件
領収書 印紙	1 件
	¥36,372
領収書	2 件
	¥23,563

部門 + 1	{ 売上個数
部門 - 2	{ 売上構成比 (★) ・ 売上金額
部門 × 3	
部門リンクのない PLU の合計	
総売上 {	個数
	金額 * 1
純売上 {	件数
	金額 * 2
現金在高	* 3
商品券在高	
信用売りが高	
内税 {	対象額 (税込み)
	消費税額
非課税額合計	
万円券枚数	
5 円 / 10 円丸め合計	
取引中止 {	件数
	金額
「戻」モード {	件数
	金額
電卓モードの計算回数	
印紙付き領収書 {	件数
	金額
印紙無し領収書 {	件数
	金額

● 「日計明細」の精算（または点検）をはじめ、本機の点検／精算（42 ページ以降）で印字される各項目間には以下の関係式が成り立っています。

- * 1

$$\text{総売上} = \text{部門合計} + \text{部門リンクしていない PLU 合計} \quad \text{： 個数、金額とも}$$

（部門リンク ⇒ 70 ページ）
- * 2

$$\begin{aligned} \text{純売上} &= \text{現金売上額} + \text{商品券売上} + \text{信用（クレジット）売上} \\ &= \text{総売上} - \text{値引き} - \text{割引き} - \text{5円/10円丸め合計} \\ &\quad \text{（＝お客様の支払い額の総合計）} \end{aligned}$$
- * 3

$$\text{現金在高} = \text{現金売上} + \text{入金合計} - \text{出金合計} \quad \text{（券売りでおつりがない場合）}$$

$\text{総売上} - \text{値引き} - \text{割引き} = \text{内税対象額} + \text{非課税額合計}$

現金	48 件	現金売上	{ 件数
	¥405,381		{ 金額
商品券	1 件	商品券売上	{ 件数
	¥2,890		{ 金額
クレジット	3 件	信用売上	{ 件数
	¥37,405		{ 金額
入金	1 件	入金	{ 件数
	¥10,000		{ 金額
出金	2 件	出金	{ 件数
	¥10,000		{ 金額
-	6 件	値引き	{ 件数
	¥32,097		{ 金額
%	1 件	割引き	{ 件数
	¥9,234		{ 金額
戻	3 件	戻 キー	{ 回数
	¥10,873		{ 金額
訂正	6 件	直前訂正	{ 回数
	¥4,905		{ 金額
レシート	19 件	レシート発行件数	
# / 替	3 件	両替回数	
強制解除	2 件	強制解除	{ 件数
	¥320		{ 金額

★印の項目は、ご購入時の標準状態では印字されません。

※お買い上げ後は、集計数値が“0”の部門および取引は、その部門および取引の項目が印字されません。

部門キーの便利な使い方

本機には、便利な機能が豊富に備えられています。
ここでは、機能ごとにその使い方を説明します。

注意 機能によっては《あらかじめ設定》しなければならないものもありますので、その場合は設定ページをご覧ください。
また、印字例も設定内容によっては記載の例とちがうこともあります。

単価×数量で登録する

ご購入状態（標準仕様）での乗算登録は「数量」×「単価」の計算順ですが、これを「単価」×「数量」の計算順にすることができます。

例

単 価	数 量	部門キー	預かり金
¥380	8	部門 1	¥10,000
¥160	5	部門 2	
¥500 (キーに設定済み)	10	部門 3	

手順

印字例

1 単価を入力し、 \times /日時 キーを押し、数量を入力して部門キーを押します。

3 8 0 \times /日時 8 + 6

1 6 0 \times /日時 5 - 7

2 設定単価を使用する場合は、単価入力を飛ばすことができます。

\times /日時 1 0 \times 8

3 同レシートを発行します。

小計

万円 現/預

2006-07-31 11:15
000065

8 点	@380	
部門 01		¥3,040
5 点	@160	
部門 02		¥800
10 点	@500	
部門 03		¥5,000
内税対象計		¥8,840
内税	5.0%	¥421
合 計		¥ 8,840
お預り		¥ 10,000
お 釣		¥ 1,160

注意 「単価」×「数量」での登録は、乗算の計算順序をこの方式に設定することにより使える機能で、部門キーを使った登録の場合に使用
できます。

この設定を行なうと、「PLUの乗算登録」と、「時刻・日付の表示」ができなくなります。

参照  乗算の計算順序の設定 → 73 ページ

単価設定商品の登録

例

単 価	数 量	部門キー	預かり金
¥800 (キーに設定済み)	1	部門 2	¥10,000
¥1,200	1	部門 2	
¥800 (キーに設定済み)	4	部門 2	

手順

印字例

1 部門キーを押します。設定単価が呼び出されます。

2 単価を入力して部門キーを押します。入力された単価を使用します。

3 同様に乗算登録にも設定単価を使用できます。

4 レシートを発行します。

2006-07-31 11:12	
	000062
部門 02	¥800
部門 02	¥1,200
4 点	@800
部門 02	¥3,200
内税対象計	¥5,200
内税	5.0% ¥248
合 計	¥ 5,200
お預り	¥ 10,000
お 釣	¥ 4,800

ポイント 部門キーに単価が設定されていても、登録の際に新たな単価を入れれば、その単価で登録されます。この場合、設定されている単価は消えません。

参照 部門キーへの単価設定の仕方 → 51 ページ

部門6から部門10への登録

例

単 価	数 量	部門キー	預かり金
¥100	1	部門 6	¥1,000
¥800 (キーに設定済み)	1	部門 9	

手順

印字例

1 部門シフトキーを単価入力の前に押します。

2 設定単価を呼び出す場合は部門キーの直前に押します。

3 レシートを発行します。

2006-07-31 11:12	
	000062
部門 06	¥100
部門 09	¥800
内税対象計	¥900
内税	5.0% ¥43
合 計	¥ 900
お預り	¥ 1,000
お 釣	¥ 100

ポイント 部門6～10に登録する場合は、単価入力前（設定単価を呼び出す場合は部門キーの前）に を押します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

PLU の使い方

PLU について

PLU 番号ごとに「商品単価」と「商品名」を覚えさせておくことにより、その番号を指定するだけで商品登録を行なうことができる便利な機能です。

通常の商品の登録は、《商品単価を入れて部門キーを押す》ですが、PLU 登録は、《PLU 番号を入れて **PLU** キーを押す》で登録できます。

PLU は登録されると、その金額と個数とその PLU に集計されていきますので、PLU ごとの売上状況をつかむことができます。

PLU はお買い上げの状態です。600 個あります。

注意 PLU 登録では、事前に商品単価を各 PLU に設定しておく必要があります。
また商品名を設定しておくとも便利です。

参照 PLU への単価設定の仕方 → 51 ページ
PLU への商品名の設定の仕方 → 58 ページ

品番 PLU 機能について

PLU のもう一つの便利な機能が「品番 PLU」です。この機能は、同じ商品でありながら「違う単価」で販売しなければならないときに有効で、使用するキーとして、**PLU** キーのほかに **金額** キーが必要になります。

PLU 中の任意の PLU に「品番 PLU」を設定しておくことができます。この設定がしてある PLU は、番号を入れて **PLU** キーを押し、その後に単価を入れて **金額** キーを押してはじめて登録が行なわれます。(単価を入れずに直接 **金額** キーを押せば、設定されている単価で登録できます)

注意 品番 PLU 機能が必要な場合は、事前に PLU に設定してください。

参照 PLU への品番 PLU の設定 → 70 ページ

PLU に単価設定してある商品のお買い上げ

例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥2,000	1	PLU No. 200	¥10,000
¥150	12	PLU No. 150	
¥1,200	2	PLU No. 109	

手順

印字例

- PLU 番号を入力し **PLU** キーを押します。設定単価を呼び出します。
2000 **PLU** 2,000
- 個数を入力して乗算登録を行ないます。
12 **X/日時** **150** **PLU** 1,800
- リピート登録を行ないます。
109 **PLU** **PLU** 2 1,200
リピータ回数
- レシートを発行します。
小計 **万円** **現/預** 3,800

2006-07-31 11:25		000067
PLU0200	¥2,000	
12 点	@150	
PLU0150	¥1,800	
PLU0109	¥1,200	
PLU0109	¥1,200	
内税対象計	¥6,200	
内税	5.0%	¥295
合計	¥6,200	
お預り	¥10,000	
お釣	¥3,800	

品番 PLU を使って登録する

例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥850	2	PLU No. 303 (品番 PLU 設定済み)	¥4,000
¥98	9	PLU No. 28 (品番 PLU 設定済み)	
¥480 (単価設定済み)	1	PLU No. 232 (品番 PLU 設定済み)	

手順

印字例

- 品番を入力し **PLU** キー、単価 **金額** キーを押します。
303 **PLU** **850** **金額** 850
- リピート登録を行ないます。
金額 2 850
- 個数を入力して乗算登録を行ないます。
9 **X/日時** **28** **PLU** **98** **金額** 882
- 設定単価を使う場合は単価を入力しないで **金額** キーを押します。
232 **PLU** **金額** 480
- レシートを発行します。
小計 **4000** **現/預** 938

2006-07-31 11:27		000069
PLU0303	¥850	
PLU0303	¥850	
9 点	@98	
PLU0028	¥882	
PLU0232	¥480	
内税対象計	¥3,062	
内税	5.0%	¥146
合計	¥3,062	
お預り	¥4,000	
お釣	¥938	

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

不加算印字の使い方・日付 / 時刻の表示

伝票番号や商品コードを印字する

集計に関係ない数値（伝票番号、商品コード、お客様番号、電話番号など）を印字する場合は、その数値（最大 14 桁）を入れたあとで **#/替** キーを押します。これを《不加算印字》と言います。

例

お客様番号 <1001> に下記の商品を買う

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,230	1	部門 1	¥20,000
¥3,500	1	部門 3	
¥8,800 (商品コード 53344830)	1	部門 2	

手順

1 お客様の番号を不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

1 0 0 1 **#/替**

1 2 3 0 **+ 6**

3 5 0 0 **× 8**

2 商品コードを不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

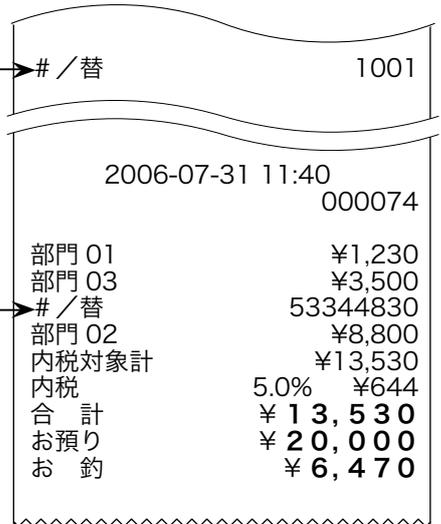
5 3 3 4 4 8 3 0 **#/替**

8 8 0 0 **- 7**

3 レシートを発行します。

小計 **2** 万円 **現/預**

印字例



不加算印字

時刻および日付を表示する

モードスイッチが「登録」または「戻」の位置で、**×/日時** キーを押すと時刻/日付を表示することができます。（登録の途中では表示できません）

キャラクタ（文字）表示部に「日付」を表示し、数値・金額表示部に「時刻」を表示します。

時刻または日付を表示後、他の操作を行なう場合は、**C/AC** キーを押してからはじめます。（「時刻/日付」表示のままでは、他の操作が何もできません）

手順

1 日付・時刻を確認します。

×/日時



2 日付・時刻表示を解除します。

C/AC



参照 時刻・日付の修正 → 50 ページ

万円キー / 後レシートキーの使い方

登録



万円キーの使い方

万円 キーは、預かり金に使用できます。また、金額登録時にも使用できます。

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥10,000	1	部門 3	¥40,000
¥20,550	1	部門 4	

手順

1 1万円や端数の入力を下記のように行います。

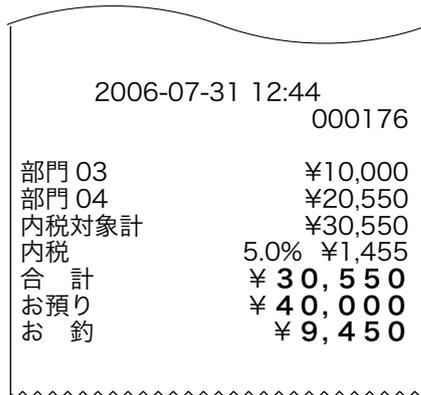
万円 × 8 3

2 万円 5 5 0 ÷ 9 4

2 万円 キーの前に1万円札の枚数を入力してください。

小計 4 万円 現/預

印字例



ポイント 預かり金処理で万円キーを使うと、点検・精算のときに、「一万円札」の枚数が印字されます。(商品登録時の使用はカウントされません)

必要なときだけレシートを発行する

ロール紙をレシートとして使用しているときに、レシートを「停止」で使用している場合でも、レシートキーを押せばレシートを発行することができます。

例

レシート「停止」状態で、下記の登録後にレシートを発行する。

単価	数量	部門キー	預かり金
¥150	5	部門 2	¥1,500
¥550	1	部門 4	

手順

1 商品登録を行い、取引を終了します。

5 ×/日時 1 5 0 - 7

5 5 0 ÷ 9 4

小計 1 5 0 0 現/預

2 レシートキーを押して後レシートを発行します。

レシート発行/予約券

印字例



注意 お買い上げの状態では、レシートスイッチが「発行」のときは、後レシート発行はできません。また、ロール紙をジャーナルとしてお使いの場合も後レシート発行はできません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

入金キー／出金キーの使い方

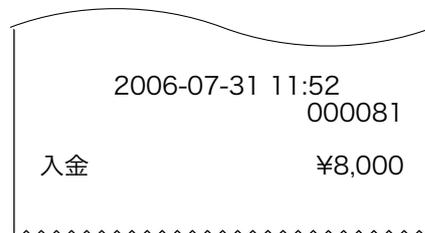
売上とは関係ない現金をドロアに入れる

手順

1 釣り銭用として、8,000 円を補充する。

8 0 0 0 入金
CAL

印字例



 **ポイント** 掛け売り代金の受取や、釣り銭用小銭の補充など、売上ではない入金で「現金をドロアに入れるとき」には、その金額を「入金」として処理します。これにより、「点検・精算」時に、ドロア内の現金の在高を正確に把握することができます。

売上とは関係ない現金をドロアから出す

手順

1 1万円札 15 枚を金庫に移す。

1 5 万円 出金/
電子チャージ

印字例



 **ポイント** 集金や、ドロアが一杯になったときなど、売上（お釣りや両替）とは関係なく「現金をドロアから出すとき」には、その金額を「出金」として処理します。これにより、「点検・精算」時に、ドロア内の現金の在高を正確に把握することができます。



値引きキーの使い方

値引きを行なう

例

単価	数量	部門キー	値引き金額	預かり金
¥1,000	1	部門 1	¥500 (設定済み)	¥5,000
¥2,500	1	部門 3		

手順

印字例

1 商品を登録します。

1 0 0 0 + 6 1

2 5 0 0 × 8 3

2 値引きを行います。(設定された値引き単価を呼び出します。)

—

3 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 現/預

2006-07-31 12:18	
	000093
部門 01	¥1,000
部門 03	¥2,500
—	-500
内税対象計	¥3,000
内税 5.0%	¥143
合計	¥3,000
お預り	¥5,000
お釣	¥2,000

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

ポイント □ キーには、あらかじめ「値引き金額」を設定しておくことができます。なお、違う値引き金額を入れれば、その金額が値引きされます。

参照 □ キーへの値引き金額の設定 → 52 ページ

割引きキーの使い方

それぞれの商品金額から割引きをする

例

単価	数量	部門キー	割引率	預かり金
¥1,000	1	部門 1	5% (設定済み)	¥5,000
¥2,500	1	部門 3	7.5%	

手順

1 [%] キーを押すと直前の登録金額から割引き計算をおこないます。

1 0 0 0 + 6 1

%

2 [%] キーの直前に割引き率を入力することもできます。

2 5 0 0 × 8 3

7 . 5 %

3 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 現/預

印字例

2006-07-31 12:20	
000095	
部門 01	¥1,000
5%	
%	-50
部門 03	¥2,500
7.5%	
%	-188
内税対象計	¥3,262
内税 5.0%	¥155
合 計	¥ 3, 2 6 2
お預り	¥ 5, 0 0 0
お 釣	¥ 1, 7 3 8

 **ポイント** [%] キーには、あらかじめ「割引き率」を設定しておくことができます。また、割引き計算の円未満の端数は標準では「四捨五入」ですが、「切上げ」または「切捨て」にすることもできます。使用例は割引きですが、割増しの操作もこれと同じです。

-  **参照**
- [%] キーへの割引き率の設定 → 52 ページ
 - [%] キーの端数処理の設定 → 71 ページ
 - [%] キーを割増しとして使用する場合の設定 → 71 ページ

合計金額から割引きをする

例

単価	数量	部門キー	割引率	預かり金
¥1,000	1	部門 1	10%	¥5,000
¥2,500	1	部門 3		

手順

1 商品登録をおこないます。

1 0 0 0 + 6 1

2 5 0 0 × 8 3

2 小計 キーを押してから [%] キーを押します。

小計 1 0 %

3 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 現/預

印字例

2006-07-31 12:22	
000096	
部門 01	¥1,000
部門 03	¥2,500
小計	¥3,500
10%	
%	-350
内税対象計	¥3,150
内税 5.0%	¥150
合 計	¥ 3, 1 5 0
お預り	¥ 5, 0 0 0
お 釣	¥ 1, 8 5 0

さかのぼり訂正・まるめの使い方



登録中に何行か前のまちがいを訂正する

〔戻〕キーは「取引中の返品」(25 ページ参照)に使用しますが、登録途中で何行か前の登録を訂正したい場合(これを「さかのぼり訂正」と言います)にも使用できます。

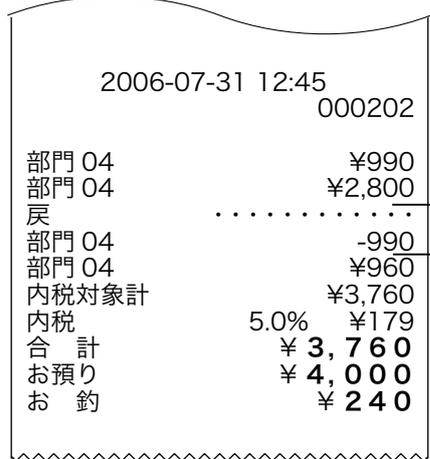
例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥960	1	部門 4	¥4,000
¥2,800	1	部門 4	

手順

- 商品登録をおこないます。
 $990 \div 9$
 $2800 \div 9$
- 最初に登録した商品の単価の間違いに気づき、さかのぼり訂正をします。
 〔戻〕 $990 \div 9$
- 正しい単価で登録し直します。
 $960 \div 9$
- レシートを発行します。
 小計 4000 現/預

印字例



訂正分の印字

ポイント さかのぼり訂正は、〔戻〕キーを押したあとに、まちがえた登録内容をそのまま操作し、改めて正しく入れ直します。

端数の10円未満を自動値引きする

合計金額を、「5円単位」または「10円単位」に丸めて《自動値引き》することができます。

例

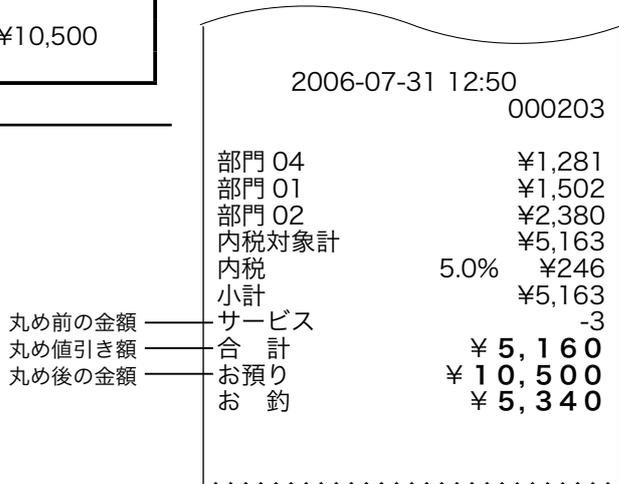
<10円未満の端数値引き>で、下記の商品売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,281	1	部門 4	¥10,500
¥1,502	1	部門 1	
¥2,380	1	部門 2	

手順

- 例に合わせて商品登録をおこないます。
 $1281 \div 9$
 $1502 + 6$
 $2380 - 7$
- 端数を丸めて合計処理がおこなわれます。
 小計 万円 500 現/預

印字例



ポイント 「5円丸め」は、1円の位が「1~4→0円」に、「5~9→5円」に丸められます。「10円丸め」は「1~9→0円」に丸められます。

どちらの場合も、丸められた差額が「自動値引き」されて、印字されると同時に「丸め合計」に集計されます。なお、差額がないときは印字は行なわれません。

参照 5円丸めまたは10円丸めの設定 → 52 ページ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

券売キー / 信用売キーの使い方

商品券で売り上げる

商品券（券売り）で売上を行なう場合は、**券** キーを押します。

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,380	2	部門 2	¥5,000 の商品券

手順

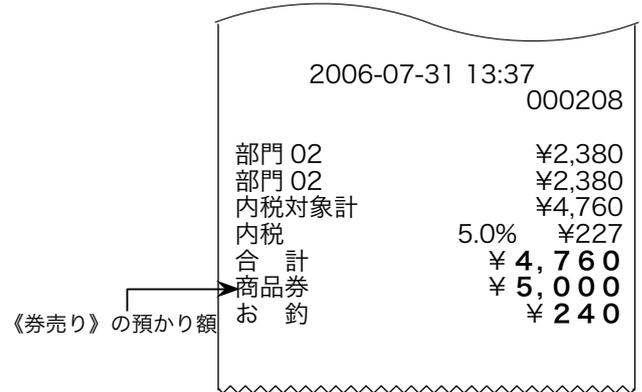
1 例に示した商品登録をおこないます。

2 3 8 0 **- 7** **- 7** **小計**

2 商品券額を入力し **券** キーを押します。

5 0 0 0 **券**

印字例



クレジットカード（信用売り）で売り上げる

クレジットカードで売上を行なう場合は、**信** キーを押します。

例

下記の商品を <クレジットカード> で売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥35,000	1	部門 1	なし（クレジット）

手順

1 例に示した商品登録をおこないます。

3 **万円** **5 0 0 0** **+** **6** **1** **小計**

2 **信** キーを押します。

信

印字例



組み合わせた売上のやり方

現金と商品券などを組み合わせて売り上げる

登録を終了するとき（「締め」と言います）に、**現/預**、**券**、**信** キーのどれかを押しませんが、1つのキーだけでの終了でなく、一部現金売り、一部券売りなどのように「合計金額を別種の預かり金で分割して」処理を行なうことができます。

例

下記の商品を <分割処理> で売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,350	1	部門 2	商品券 ¥5,000 現金 ¥1,500
¥3,820	1	部門 1	

手順

1 例に示した商品登録をおこないます。

2 3 5 0 **-** **7** **3 8 2 0** **+** **6** **1**

小計

6,170

2 商品券の預かり金額を入れて **券** キーを押します。

5 0 0 0 **券**

1,170

商品券分を引いた残額

3 現金の預かり金額を入れて **現/預** キーを押します。

1 5 0 0 **現/預**

330

おつり

印字例

2006-07-31 13:43
000212

部門 02	¥2,350
部門 01	¥3,820
内税対象計	¥6,170
内税 5.0%	¥294
合計	¥6,170
商品券	¥5,000
お預り	¥1,500
お釣	¥330

おつり
現金預かり額
商品券分



ポイント 一部入金を「不可」に設定（71 ページ）することにより、小計額よりも少ない預かり金を入れた場合に警告音（エラーブザー）を鳴らすことができます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

クーポン券／予約券の発行

クーポン券を発行する

合計金額に対して、あらかじめ設定された割合の点数を印字したクーポン（半券）を、そのレシートの末尾に印字することができます。

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,380	2	部門 2	¥5,000

印字例

2006-07-31 13:37
000214

部門 02 ¥2,380
部門 02 ¥2,380
内税対象計 ¥4,760
内税 5.0% ¥227
合 計 ¥ 4,760
お預り ¥ 5,000
お 釣 ¥ 240

ポイント 47
◇ 印刷面を内側に折って ◇
◇ 保管してください ◇

手順

1 例に示した商品登録をおこないます。

2 3 8 0 - 7 - 7 小計

2 預かり金を入れて取引を締めます。

5 0 0 0 現/預

クーポン券メッセージ

参照 ポイント点数印字をするために、あらかじめポイント率を設定する必要があります。→ 75 ページ
クーポンの半券に印字されるメッセージは、メッセージファイルに設定します。→ 67 ページ

予約券を発行する

予約日付／時刻を印字した、予約券を発行することができます。

例

1 2 月 2 4 日 1 7 時 3 0 分の予約券を発行する。

手順

1 予約日付／時刻を 8 桁で入力する。

1 2 2 4 1 7 3 0 レシート発行/予約券

印字例

2006-07-31 13:40
000215

予約券タイトル *** ご予約券 ***

予約券メッセージ 1 様
下記のとおり、
ご予約を承りました。

1 2 月 2 4 日 (日)
1 7 時 3 0 分

予約券メッセージ 2 またの御利用を
(お買い上げ時は印字しません) お待ちしております。

参照 予約券のタイトルやメッセージは、メッセージファイルに設定します → 67 ページ

ポイント 予約券メッセージ 2 は、「またの御利用をお待ちしております。」と設定した場合の印字例です。
お買い上げ後のままの状態では印字しません。



レジ担当者機能を使用する

レジ担当者を使用する

レジ担当者機能を使用すると、レシート上に担当者の名前を印字したり、明細レポートに担当者別の売上合計を集計したりすることができます。お買い上げの状態では担当者機能は「使用しない」と設定されています。担当者機能をお使いになる場合は、担当者機能を「使用する」と設定を変更してください。

参照 担当者機能を使用すると設定する → 73 ページ

レジ担当者を使う場合の登録手順

レジ担当者を「使用する」と設定した場合、登録の始めに担当者が指定されていなければなりません。レジスタに担当者が指定されている状態を「サインオン」状態、指定されていない状態を「サインオフ」状態と呼びます。

例

担当者 -01 をサインオンする。

手順

1 担当者番号を置数して を押します。

0 1

ポイント お買い上げの状態では、担当者 -01 から担当者 -10 にはそれぞれ担当者番号 01 から 10 が設定されています(これは変更が可能です)。また、担当者番号を置数する前に を押すと、担当者番号を置数しても表示には現れませんので、暗証番号として使えます。

例

担当者をサインオフする。

手順

1 ゼロを置数して を押します。

0

ポイント レシートに印字する担当者の名前や担当者番号を設定にて変更することが可能です。印字例は 15 ページを参照してください。
担当者名の変更 → 66 ページ
担当者番号の変更 → 75 ページ

ご使用前に

使い方

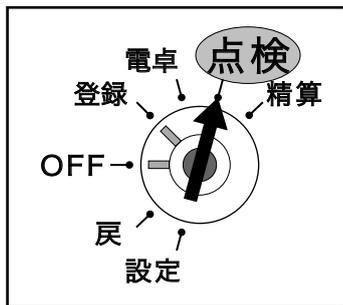
便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

点検と精算の操作と印字例 (1 / 3)

● 点検の場合のモードスイッチの位置



モードスイッチを「点検」にすると、表示窓の“点検”の位置にシンボル(■)が表示されます。

点検は、売上合計や現金在高、時間帯別合計などを「確認したい」ときに行なう操作です。(今までの合計は消えません)

レポートとキー操作、レポートの内容について

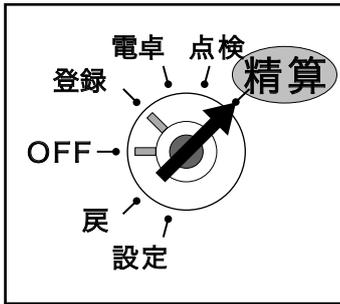
点検または精算は、モードスイッチを「点検」または「精算」にした後で、以下の「キー操作をおこないます。点検・精算によってメモリの中に集計された内容が印字出力されます。これを「レポート」と呼びます。レポートには集計された内容に加えて、「種別コード」、「レポートタイトル」などが印字されます。また、点検時は印字シンボル「X」が、精算時には印字シンボル「Z」が印字されます。精算レポートによっては、精算レポートの累積発行数（精算回数と呼びます）を印字します。

レポート名称	キー操作	備考	参照ページ
日計明細	<input type="text" value="現/預"/>		26, 44
期間集計1明細	<input type="text" value="100"/> <input type="text" value="現/預"/>		44
期間集計2明細	<input type="text" value="200"/> <input type="text" value="現/預"/>		44
PLU	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="現/預"/>		45
時間帯別	<input type="text" value="2"/> <input type="text" value="現/預"/>		46
月間日別	<input type="text" value="3"/> <input type="text" value="現/預"/>		46
グループ別	<input type="text" value="6"/> <input type="text" value="現/預"/>	点検のみ	47
売上/在高	<input type="text" value="X/日時"/>	点検のみ	44
部門個別	点検したい部門キーを押す、最後に <input type="text" value="小計"/>		44
PLU 個別	点検したいPLUのコードを置数し <input type="text" value="PLU"/> を押す、、、最後に <input type="text" value="小計"/>		45
電子ジャーナル	<input type="text" value="出金/電子ジャーナル"/>	*1	47
	<input type="text" value="58"/> <input type="text" value="現/預"/> (開始日付) <input type="text" value="現/預"/> (開始一連番号) <input type="text" value="現/預"/> *2	点検のみ	47

*1：電子ジャーナルを消去する（印字せずに消す）場合、精算モードにして と操作します。

*2：日付や一連番号で印字開始する取引を指定することも可能です。開始日付または開始一連番号を指定しないときは、開始日付または開始一連番号を入力せずに を押してください。

● 精算の場合のモード
 スイッチの位置



モードスイッチを「精算」にすると、表示窓の“精算”の位置にシンボル(■)が表示されます。

精算は、期間満了日の営業終了後に、精算・設定用鍵 (PGM) でモードスイッチを「精算」の位置に合わせて行ないます。

ご使用前に

集計名称とその内容

- 日 計 明 細
 1日の最後に必ず精算します。
 売上総額やドドア内の現金在高、税額総計等、取引別の内容（現金、商品券、クレジット等や割引、値引き、入出金）、部門別の売上状況、レジ担当者別の扱い金額などが求められます。
- 期 間 集 計 1
 ある期間分（週単位や月単位など）の売上状況がそれぞれ求められます。
- 期 間 集 計 2
 期間集計1とは異なる期間（キャンペーン期間中または、半期単位や年単位など）の売上状況がそれぞれ求められます。
- PLU
 個々の商品別の売上金額と売上数量が求められます。
- 時 間 帯 別
 どの時間帯に売上が集中しているかを知ることができます。
- 月 間 日 別
 1ヶ月の内のどの日に売上が多いかを知ることができます。
- グ ル ー プ
 数個の部門をグループにまとめてその合計を求めます。
- 売上／在高
 売上と在高（ドドア内の現金などの合計）をワンタッチで知ることができます。
- 個別（部門／PLU）
 商品分類ごとの売上をワンタッチで知ることができます。
- 電子ジャーナル
 電子的に記録された営業記録（ジャーナル）を印字します。開始日付や開始一連番号を指定することも可能です。お買い上げの状態では、意識せずに最新の記録を見るため電子ジャーナルの記録は明細日計精算で消去しますが、電子ジャーナルを意識して残したいと考えられる場合は、「電子ジャーナルが一杯になったとき（なりそうなとき）に報知する設定（→ 73 ページ）」をする事をお勧めいたします。電子ジャーナルが一杯になると以降は記録されませんので、報知されましたらできるだけ早くこのレポートを発行してください。

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

ポイント グループ集計は「部門」にあらかじめグループ番号を設定する必要があります。

参照 部門のグループ設定 → 69 ページ
 売上構成比の印字の設定 → 73 ページ

点検と精算の操作と印字例 (2 / 3)

日計明細の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。

日計は

期間集計 1 は

1 0 0 現/預

期間集計 2 は

2 0 0 現/預

印字例

(一部分のみ、例として示しています)

精算 2006-07-31 10:53 担当 -01 0001-000048		
0000 日計明細	Z 0002	レポートタイトル、コード / 精算シンボル / 精算回数
部門 01	505 点	部門名 / 売上個数
44.04%	¥231,167	売上構成比・売上金額
部門 02	411 点	
39.75%	¥208,689	
部門 03	32 点	
2.22%	¥14,297	
担当 -01	138 件	担当者 -01 純売上件数
	¥309,873	担当者 -01 純売上金額
担当 -02	20 件	
	¥188,874	

■日計明細の印字例 → 26 ページ

※期間集計 1 および期間集計 2 の印字では、精算シンボル部（点検シンボル部）が XX または ZZ になります。

(そのほかの部分は変わりありません)

売上 / 在高の点検

手順

- 1 モードスイッチを点検にします。
- 2 ×/日時 キーを押します。

×/日時

印字例

点検 2006-07-31 19:30 担当 -01 0001-000370		
在売点検	X	レポートタイトル
総売上	1059 個 ¥524,966	総売上個数 総売上金額
純売上	158 件 ¥498,747	純売上件数 (客数) 純売上金額
現金在高	¥405,361	現金在高
券在高	¥2,890	商品券在高
信在高	¥37,405	信用売り在高

部門個別の点検

例

部門 1、3、7 の売上金額を確認する

手順

- 1 モードスイッチを点検にします。
- 2 点検したい部門キーを押します。

+ 6 1 × 8 3 責任者/部門ソフト - 7 2

- 3 小計 キーを押します。

小計

印字例

点検 2006-07-31 19:23 担当 -01 0001-000369		
	X	点検シンボル
部門 01	38 点	部門 01 名称 / 個数
	¥25,753	部門 01 金額
部門 03	23.6 点	部門 03
	¥22,957	
部門 07	50 点	部門 07
	¥23,523	
合計	111.6 点	点検分の合計個数
	¥72,233	合計金額

PLU 個別の点検

例

PLU 番号 111、112、200 の売上金額を確認する

手順

- 1 モードスイッチを点検にします。
- 2 PLU コードを入力して **PLU** キーを押します。次の PLU を点検するときはコードを入力せずには **PLU** キーを押します。

1 1 1 **PLU** **PLU**

2 0 0 **PLU**

- 3 **小計** キーを押します。

小計

印字例

点検 2006-07-31 19:30			
担当 -01	0001-000380		
	X	点検シンボル	
PLU0111	10 点	PLU111 名称/個数	
	¥1,200	PLU111 金額	
PLU0112	4 点	PLU112	
	¥520		
PLU0200	17 点	PLU200	
	¥1,700		
合計	88 点	点検分の合計個数	
	¥12,562	合計金額	

PLU の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。

1 **現/預**

印字例

精算 2006-07-31 21:15			
担当 -01	0001-09543		
0001 P L U	Z 0001	種別コード/レポートタイトル	
		精算シンボル/精算回数	
PLU0001	126 点	PLU001 名称/個数	
	1.23%	構成比/金額	
	¥38,430		
PLU0003	94 点	PLU003	
	0.95%		
	¥29,892		
PLU0007	162 点	PLU007	
	1.13%		
	¥35,324		
PLU0016	141 点		
	1.02%		
	¥57,246		
合計	4,163 点	構成比/合計個数	
	10.23%	合計金額	
	¥1,872,484		

※ 構成比は、PLU の総合計に対する個々の比率です。
 ※ 集計数値のない PLU は印字をスキップします。

※長いレポートを途中で
止めたい場合は……

モードスイッチを OFF にします。
(止まるまで数秒かかるときもあります)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

点検と精算の操作と印字例 (3 / 3)

時間帯別集計の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。
 - 2 現 預

印字例

精算 2006-07-31 21:26		担当 -01 0001-017251	
0002 時間帯	Z 0004	種別コード / レポートタイトル	精算シンボル / 精算回数
7:00 - 8:00	13 件	時間帯 / 売上件数 (客数)	純売上金額
	¥30,230		
8:00 - 9:00	35 件	時間帯 08:00 ~ 09:00	
	¥107,380		
9:00 - 10:00	123 件	時間帯 09:00 ~ 10:00	
	¥339,940		
10:00 - 11:00	307 件	時間帯 10:00 ~ 11:00	
	¥918,350		
11:00 - 12:00	346 件	時間帯 11:00 ~ 12:00	
	¥998,030		
20:00 - 21:00	186 件	時間帯 20:00 ~ 21:00	
	¥532,040		
21:00 - 22:00	24 件	時間帯 21:00 ~ 22:00	
	¥73,340		
22:00 - 23:00	2 件	時間帯 22:00 ~ 23:00	
	¥5,340		
合計	5,773 件	時間帯総合計	
	¥17,058,650	純売上金額合計	

※集計数値のない時間帯は印字をスキップします。

月間日別集計の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。
 - 3 現 預

印字例

精算 2006-07-31 20:46		担当 -01 0001-023652	
0003 月間日別	Z 0003	種別コード / レポートタイトル	精算シンボル / 精算回数
1	191 件	1 日 / 売上件数	純売上金額
	¥564,360		
2	179 件	2 日	
	¥532,250		
3	236 件	3 日	
	¥712,560		
4	261 件		
29	305 件	29 日	
	¥903,260		
30	215 件	30 日	
	¥641,070		
合計	5,773 件	月間日別件数合計	
	¥17,058,650	純売上合計	

※集計数値のない日付は印字をスキップします。

グループ別集計の点検

手順

- 1 モードスイッチを「点検」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。
6 現/預

印字例

点検 2006-07-31 13:56		種別コード/レポートタイトル
担当 -01 0001-000156		/点検シンボル
0006 グループ X		グループ 01/個数
01 47 点		構成比/金額
4.89%	¥14,582	グループ 02
02 38 点		グループ 03
5.24%	¥15,624	グループ 05
03 54 点		グループ 06
5.39%	¥16,062	グループ 08
05 89 点		グループ 09
14.61%	¥43,528	グループ 10
06 7 点		
	¥3,527	
08 11 点		
2.03%	¥6,073	
09 9 点		
1.61%	¥4,813	
10 7 点		
1.32%	¥3,955	
合計	576 点	点検分の合計個数
99.87%	¥297,836	点検分の合計金額

※集計数値のないグループは印字をスキップします。

電子ジャーナルの点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。
出金/電子ジャーナル

印字例

点検 2006-07-31 13:56		種別コード/レポートタイトル
担当 -01 0001-000156		/点検シンボル
0058 電子ジャーナル X		ジャーナルの内容
部門 01	¥360	
10 点 @128	¥1,280	
PLU0027	¥1,280	
-	-100	
部門 03	¥2,600	
部門 04 非	¥3,000	

電子ジャーナルの区間点検

ある決まった日付や一連番号からのジャーナルを印字したい場合は、

- 1 モードスイッチを「点検」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。
5 8 現/預
 (開始日付) 現/預
 (開始一連番号) 現/預

※開始日付または開始一連番号入力は飛ばすことができます。

電子ジャーナルの消去

電子ジャーナルを印字せずに消去したい場合は、

- 1 モードスイッチを「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。
4 0 5 8 現/預

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

電卓機能の使い方

本機は、モードスイッチを「電卓」の位置に合わせることで、電卓として使用することができます（印字はされません）。電卓モードでは、表示窓の「電卓」の位置に“**■**”が表示されます。また、何の計算命令キー（+、-、×、÷）が押されているかを示すため、命令キーのシンボルも表示されます。

通常電卓として使用する

例1 $123 + 456 - 78 = ?$

操作 AC C 1 2 3 + 4 5 6 - 7 8 現/預

501

例2 $12.3 \times 4.56 \times 20 = ?$

操作 AC C 1 2 . 3 x 4 . 5 6 x 2 0 現/預

112.176

例3 $828 \div 36 = ?$

操作 AC C 8 2 8 ÷ 3 6 現/預

23

例4 $(23 - 56) \times 963 = ?$

操作 AC C 2 3 - 5 6 x 9 6 3 現/預

-31779

注意 以下の場合はエラーとなります。
・計算の途中で10桁（負数のときは9桁）を超えた場合
・答の整数部が10桁（負数のときは9桁）を超えた場合
・10桁を超えて数字キーを押した場合
この場合、表示窓に“**E**”が表示され、オールクリアになります。

ポイント ・計算命令キーは上記のほかに、**[-]** キーが減算に、**[%]** キーが乗算に使用できます。
・電卓モード中でも**[#/替]** キーを押すとドロアが開きます。

税抜き額や税額を計算する

例1 1,500円の税抜き金額と内税額は？（「税1テーブル」が税率5%、内税、端数四捨五入の場合）

操作 AC C 1 5 0 0 信

1429 — 税抜き金額

(続けて) 信

71 — 内税額

例 2

230 円、780 円のそれぞれの内税額の合計は？
 (「税 1 テーブル」が税率 5%、内税、端数四捨五入の場合)

操作

AC C 2 3 0 信 信 + $\frac{6}{1}$
 7 8 0 信 信 $\frac{現}{預}$

11 — 230 円の内税額

48 — 税額合計



注意

・税金計算は、「税 1 テーブル (通常は「内税」)」に設定されている、税率、計算方式、端数処理方法が使用されますので、設定内容によって求められる答が違ってきます。

呼び出し機能を使って計算する



ポイント

「呼び出し機能」とは、 $\frac{入金}{CAL}$ キーを押すことで、電卓スイッチを切り替える直前のデータを利用して計算することができる機能です。

例

以下の商品の売上合計を 4 人で割り勘にする場合

- ・部門 1 キーに登録されている単価 930 円の商品を 4 個お買い上げ
- ・部門 2 キーに登録されている単価 1,240 円の商品を 1 個お買い上げ

手順

1 モードスイッチが「登録」になっていることを確認して、商品の登録処理をします。

4 $\frac{x}{日時}$ 9 3 0 + $\frac{6}{1}$
 1 2 4 0 - $\frac{7}{2}$

3,720

1,240

2 商品をすべて入力したら、 $\frac{小計}{CAL}$ キーを押します。

$\frac{小計}{CAL}$

4,960 — 合計金額

3 電卓モードにして、 $\frac{入金}{CAL}$ キーを押します。

$\frac{入金}{CAL}$

4,960 — 呼び出された
合計金額

4 割り勘の計算をします。

$\frac{9}{4}$ 4 $\frac{現}{預}$

1,240 — 1 人当たり
割り勘額



注意

- ・電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額 (「小計」を押したときに表示される数値) です。また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答 (「イコール」で求められた数値) です。
- ・小数点以下がある「電卓」時の答を「登録」中に持ってきたときは、小数点以下が切り捨てられます。また、マイナスや“0”の答を持ってきた場合は、エラーになります。

時刻や日付をセットする

時刻を直す

例

午後 1 時 05 分に合わせる場合

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 現時刻を 24 時制で入力し $\times/\text{日時}$ キーを押します。

1 3 0 5 $\times/\text{日時}$

- 3 C/AC キーを押します。

C/AC C



注意 時刻は 24 時間制で入れます。(00 ~ 23)
時と分は必ず 2 桁ずつ入れます。(0 ~ 9 → 00 ~ 09)

日付を直す

例

2006 年 7 月 31 日に合わせる場合

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 現日付を西暦で入力し $\times/\text{日時}$ キーを押します。

0 6 0 7 3 1 $\times/\text{日時}$

- 3 C/AC キーを押します。

C/AC C



注意 年は「西暦年」の下 2 桁を入れます。(2006 → 06)
月と日は必ず 2 桁ずつ入れます。(1 ~ 9 → 01 ~ 09)

ポイント サマータイムに入り、時刻を 1 時間進める必要が生じた場合、登録モードでの時刻表示中に + キーを押し + キーを押します。反対にサマータイムから標準の時間に戻り、時刻を 1 時間遅らせる場合は、時刻表示中に - キーを押し、 - キーを押します。

商品単価を設定する

商品単価を部門キーに設定する

例

部門キーに下記の単価をそれぞれ設定する

部門	単価
部門 1	¥100
部門 2	¥220
部門 4	¥1,100

手順

印字例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定する単価を入力し、部門キーを押します。

1 0 0 + 9 1

2 2 0 - 7 2

1 1 0 0 ÷ 9 4

- 3 小計 キーを押します。

小計

部門 01	非	@100
部門 02	内	@220
部門 04	内	@1,100

部門番号※ 課税率※ 設定単価



ポイント 単価は最大6桁（999,999円）まで設定できます。（単価設定した場合の登録の操作例は29ページ）
※部門に商品名を設定した場合（58ページ）は、その文字になります。

商品単価を PLU に設定する

例

PLU に下記の単価をそれぞれ設定する

PLU	単価
PLU 番号 1	¥210
PLU 番号 2	¥220
PLU 番号 111	¥780
PLU 番号 112	¥880
PLU 番号 200	¥550

手順

印字例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定する PLU コードを指定し設定する単価を入力します。

1 PLU 2 1 0 現/預 2 2 0 現/預

1 1 1 PLU 7 8 0 現/預 8 8 0 現/預

2 0 0 PLU 5 5 0 現/預

- 3 小計 キーを押します。

小計

PLU0001	非	@210
PLU0002	内	@220
PLU0111	内	@780
PLU0112	内	@880
PLU0200	内	@550

PLU 番号※ 課税率※ 設定単価



ポイント PLU 番号が続いているときは、いちいち番号を入れる必要はありません。
単価は最大6桁（999,999円）まで設定できます。
（PLU キーを使用した登録の操作例は30ページ）
※ PLU に商品名を設定した場合（58ページ）は、その文字になります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各種レートまるめを設定する

割引率、値引単価をそれぞれのキーに設定する

例

割引率と値引金額をそれぞれ設定する

設定キー	設定内容
% キー	割引率 5%
- キー	値引金額 ¥50

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

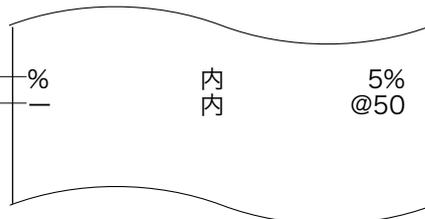
5 **%**

50 **-**

3 **小計** キーを押します。

小計

割引率 — % 内 5%
値引金額 — @50



ポイント 率は 1% ~ 99%まで設定できます。
(割引率や値引金額を設定した操作例は 35, 36 ページ)

5円丸めまたは 10円丸めを設定する

例

「10円丸め」を設定する

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

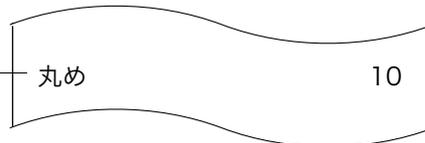
2 以下の操作をおこないます。

10 **レシート発行**

3 **小計** キーを押します。

小計

丸め金額 — 丸め 10



ポイント 丸め金額を“10”にすると「10円丸め」になり、“5”を入れると「5円丸め」になります。
丸め金額を“0”にすると丸めは行なわれません。ご購入時は“0”になっています。(5円丸め/10円丸めの操作例は 37 ページ)

プリンタをジャーナル印字用にする

例

プリンタをジャーナル印字用にする

手順

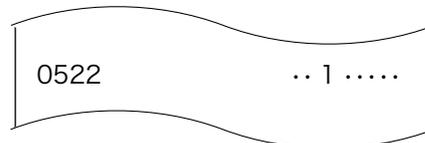
印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

1 **信**

0522 .. 1



ポイント プリンタをレシート発行用に戻す場合、“1”の代わりに“0”を入力します。
用紙の入れ方はレシート発行用とは異なります。(ジャーナル印字用の紙の入れ方は 81 ページ)

領収書やレシートに関する設定する

設定

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レシートへの時刻印字、背景印字を設定する

例

レシートに「時刻」と「背景」を印字する

手順

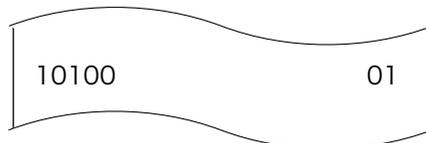
- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

1 0 1 0 0 0 小計

0 1 現/預

- ↑ レシート背景を印字する場合 **1**，印字しない場合 **0** を入力します。
- ↑ レシートに時刻を印字する場合 **0**，しない場合 **1** を入力します。

印字例



(背景印字例)

領収書の印字内容を設定する

例

領収書のタイトルを「領収書」、但し書きを「お品代」、背景を「印字しない」と設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

1 0 2 0 0 0 小計

1 0 0 0 0 現/預

- ↑ 常に **0** を入力します。
- ↑ 領収書背景を印字する = **1**，印字しない = **0** を入力します。
- ↑ タイトルを、領収書とする = **0**，領収証とする = **1** を入力します。
- ↑ 但し書きを印字しない = **0**，お品代 = **1**，お食事代 = **2**，ご飲食代 = **3**，手数料 = **4**，印紙代 = **5**，証紙代 = **6**，お薬代 = **7**，治療費 = **8**，書籍代 = **9** を入力します。

印字例



(背景印字例)

登録確認音と客用表示の有無を設定する

手順

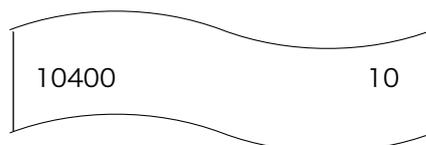
- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

1 0 4 0 0 0 小計

1 0 現/預

- ↑ 登録確認音なしの場合 **1**，ありの場合 **0** を入力します。
- ↑ 客用表示を使用する場合 **0**，しない場合 **1** を入力します。

印字例



注意 お買い上げ後は、下線で示した機能になっています。

消費税の課税方式の設定 (1/2)

モードスイッチを「設定」にすると **入金** キーが「内税指定」キーに、**#/替** キーまたは **非課税** キーが「非課税指定」キーになり、これらのキーと部門キーを押すか、必要な PLU 番号を指定するだけで、簡単に課税方式の設定ができます。

すべての商品を非課税扱いとする

すべての商品を「非課税扱い」とするお店は……………

……部門キー、いくつかの PLU および値引きキー、割引きキーに「非課税」を設定します

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定 1 モードにします。

1 小計

3 **#/替** キーを押します。

#/替

4 非課税にする部門、**-** キー、**%** キーを押します。

+ **6** **1** **-** **7** **2** **x** **8** **3** …… **責任者/部門ソフト** **+** **6** **1** …… **-** **%**

5 **小計** キーを押します。

小計

PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。

6 **#/替** キーを押します。

#/替

7 非課税にする最初の PLU のコードを入れ、本数分 **PLU** キーを押します。

1 **PLU** **PLU** **PLU** **PLU** ~ **PLU** **PLU**

8 **小計** キーを押します。

小計

印字例

部門 01	非	@0
部門 02	非	@0
部門 03	非	@0
部門 10	非	@0
- キー	非	@0
% キー	非	0%
PLU0001	非	0001 @0
PLU0002	非	0002 @0
PLU0600	非	0600 @0

消費税非課税のシンボル

すべての商品を非課税扱いとする (非課税レジスタとする)

すべての商品を「非課税扱い」とするためには、上記のように「非課税扱い」を全ての商品分類に設定することでも可能ですが、レジスタ自身を非課税レジスタと設定することもできます。

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定 3 モードにします。

3 小計

3 **9999** **小計** キーを押します。

9999 **小計**

▲注意 非課税レジスタから、元の課税レジスタに戻す場合は **9999** **小計** の代わりに **8888** **小計** と操作します。

すべての商品を内税扱いとする

すべての商品を「内税扱い」とするお店は……
 ……部門キー、PLU および値引きキー、割引キーに「内税」を設定します

お買い上げの時はこの設定を行なう必要はありません
 (オール内税の設定になっています) が、他の方式から
 「内税のみの設定」にする場合に操作してください。

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定1モードにします。

1 小計

3 入金キーを押します。

入金

4 内税にする部門、**-**キー、**%**キーを押します。

+ **6** **1** - **7** **2** × **8** **3** ··· 責任者/部門ソフト + **6** **1** ··· - **-** **%**

5 小計キーを押します。

小計

PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。

6 入金キーを押します。

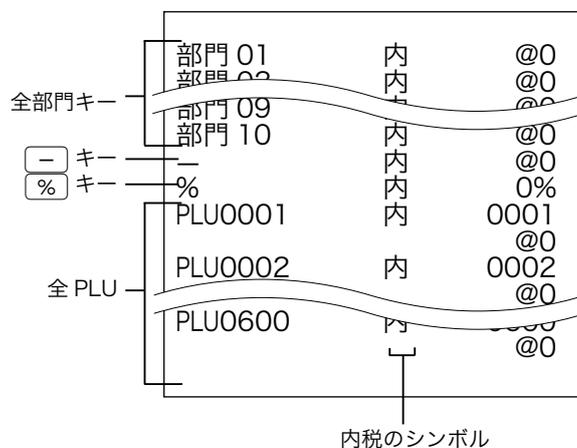
入金

7 内税にする最初の PLU のコードを入れ、本数分 **PLU** キーを押します。

1 **PLU** **PLU** **PLU** **PLU** ~ **PLU** **PLU**

8 小計キーを押します。

小計



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税の課税方式の設定 (2 / 2)

内税 / 非課税が混在して設定する

● 取り扱い商品が「内税」「非課税」と、混在しているお店は……各キーにそれぞれを設定します

準備

それぞれのキー（部門キー、値引き、割引）および PLU を「内税」、「非課税」のどちらにするかを決めます。

例

ご購入時の状態から内税、非課税を下記のように設定する

課税方式（使用するキー）	設定するキーおよび PLU
非課税（ #/替 または 非課税 ）	9 キー、 - キー、PLU65 ~ 72
内税（ 入金 ）	残りの部門、PLU、 % キー

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定 1 モードにします。

1 **小計**

3 **#/替** キーを押します。

#/替

4 非課税にする部門、**-** キーを押します、また PLU を指定します。

9 **-**

6 **5** **PLU** **PLU** **PLU** **PLU** ~ **PLU** **PLU** **PLU** キーを 8 回押します。

5 **小計** キーを押します。

小計

部門 04 キー	部門 04	非	@0
- キー		非	@0
PLU	PLU0065	非	0065 @0
	PLU0066	非	0066 @0
	PLU0072	非	@0
			@0

消費税非課税のシンボル

注意 もしお買いあげの状態から設定変更されている場合は、前ページの「内税のみの設定の仕方」をおこなってから、この設定をしてください。

消費税が改定された場合

本機は、消費税の改定が行なわれた場合の混乱を軽減するように、改定される税率と改定日をあらかじめ設定しておくことができます。

この設定の詳細は、販売店にお尋ねください。

もし、税率改定予約をせずに改定日当日を迎えた場合は以下の操作を行えば、税率をすぐに変更できます。

消費税率の税率を改定する

例

税率を《A%》にする。

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定3モードにし **1 2 6** と入力し **小計** キーを押します。

3 **小計** **1 2 6** **小計**

- 3 税率 (A) を入力し下記の操作をします。

A **現/預** **小計**

- このあと、モードスイッチを「登録」にすれば、すべての登録が新しい税率で計算されます。

税額の円未満の端数処理方法を設定する

設定の手順

設定モード → **3** **小計** → **2 2 6** **小計** → 設定内容 (D₄D₃D₂D₁) → **現/預** → **小計**

設定内容

設定内容	設定する桁
内税の端数を四捨五入=0、切捨て=1、切上げ=2	D ₄
"000"を入力する	D ₃ , D ₂ , D ₁

税シンボル、課税対象額、税率の印字／非印字を設定する

レシート上の税シンボル、課税対象額、税率などの印字／非印字などを設定します。

設定の手順

設定モード → **3** **小計** → **3 2 6** **小計** → 設定内容 (D₄D₃D₂D₁) → **現/預** → **小計**

設定内容

設定内容	設定する桁
非課税合計を印字する=0、印字しない=1	D ₄
A: 課税対象額を印字する=0、印字しない=1 B: 税率を印字しない=0、印字する=4	A+B → D ₃
「内」シンボルを印字する=0、印字しない=1	D ₂
「非」シンボルを印字する=0、印字しない=4	D ₁

注意 お買い上げ後は、下線で示した機能になっています。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定 (1 / 6)

本機は、数字や記号だけでなく、漢字やカナを含めた文字をきれいな活字（JIS 第一・第二水準の文字）で印字・表示することができます。あらかじめ、部門キーや PLU に個々の商品名等を設定しておくことにより、レシートなどの印字内容をよりわかり易くすることができます。また、担当者名やストアメッセージなどもきれいな文字で印字することができます。必要に応じて設定をしてください。

● 商品名やメッセージの設定には、

- ① 商品名リスト／メッセージリストの中から番号で選ぶ方法（→ 58, 61 ページ）と
- ② 1文字ずつ手入力して、必要に応じて漢字変換する方法（→ 62 ページ）の2種類があります。

商品名リスト／メッセージリストから番号で選ぶ

設定される文字を商品名リスト（59, 60 ページ）／メッセージリスト（61 ページ）の中から選んで設定します。

ポイント 商品名リストにある商品名が設定できるのは部門および PLU です。また、メッセージリストから設定できるのはレシートメッセージ（ボトムメッセージ）です。リストにない商品名やメッセージを設定される場合や、予約券メッセージ、クーポン券メッセージ、あるいは取引キー、担当者などの名称の設定は後に述べる1文字ずつ手入力して漢字変換する方式で設定してください。また、電子店名スタンプを発注して届く前にレシートに店舗名や所在地を印字したい場合も同様です。

ポイント 商品名リストやメッセージリストにあるものを一部変更して設定したい場合は、一旦リストを用いて設定した後で、不要の文字を1文字ずつ消去し、必要な文字を1文字ずつ手入力する方法で修正をしてください。

部門キーへ商品名リストから商品名を設定する

例

部門 01 () に『初診料』、部門 06 () に『指導料』と設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

- 2 
 - 1 (「初診料」のコードは商品リストから 1)   (部門シフトはコードの前に入力する)
 - 3 (「指導料」のコードは商品リストから 3)   (設定終了)

PLU へ商品名リストから商品名を設定する

例

PLU 番号 71 に「検査料」、PLU 番号 72 に「その他」、PLU 番号 90 に「リハビリ」と設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
 - 2 
 - 7  (PLU71 を指定します)  (コード指定前に  キーを押します)
 - 8 (「検査料」のコードは商品リストから 8)  (指定したキャラクタを設定します)  (続いて次のメモリに設定します)
 -   (「その他」のコードは商品リストから 10) 
 - 9  (PLU90 を指定します)
 -   (「リハビリ」のコードは商品リストから 12) 
 -  (設定終了)

商品名リスト (その1)

業種	商品名	コード	業種	商品名	コード	業種	商品名	コード
医院 / 歯科医院	初診料	001	薬局 / 薬店	生薬	053	食料品	お惣菜	105
	再診・往診等	002		虫さされ	054		おにぎり	106
	指導料	003		内服薬	055		加工食品	107
	投薬料	004		皮膚治療薬	056		菓子	108
	注射料	005		鼻炎薬	057		菓子パン	109
	処置料	006		婦人薬	058		果物	110
	手術・麻酔料	007		防虫剤	059		香辛料	111
	検査料	008		目薬	060		サンドイッチ	112
	画像診断料	009		薬剤	061		嗜好品	113
	その他	010		アイスクリーム	062		ジュース類	114
	かかりつけ	011		アルコール	063		食パン	115
	リハビリ	012	一品料理	064	食料品		116	
	加算	013	ウィスキー	065	寿司		117	
	在宅医療	014	お酒	066	スナック菓子		118	
	食事療法	015	お食事	067	生鮮		119	
	精神科専門	016	おつまみ	068	精肉		120	
	特定入院	017	お通し	069	鮮魚		121	
	入院基本料	018	お飲み物	070	その他		122	
	保険給付外	019	お持ち帰り	071	中華		123	
	保険給付内	020	カクテル	072	調味料		124	
	放射線治療	021	喫茶	073	調理パン		125	
	薬剤負担金	022	ケーキ	074	乳製品		126	
	輸血	023	コーヒー	075	パン		127	
薬局 / 薬店	アレルギー薬	024	喫茶 / 軽食	サワー	076	ファーストフード	128	
	かぜ薬	025		ジュース	077	ベーカリー	129	
	ケア用品	026		セット	078	弁当類	130	
	コタケケア用品	027		セットメニュー	079	麺類	131	
	サプリメント	028		ソフトクリーム	080	野菜	132	
	せき止め	029		ソフトドリンク	081	洋菓子	133	
	ドリンク剤	030		テイクアウト	082	冷凍食品	134	
	歯ブラシ	031		定食	083	レトルト食品	135	
	ヘアケア用品	032		ディナー	084	和菓子	136	
	ベビー用品	033		デザート	085	アクセサリー	137	
	胃腸薬	034		トースト	086	衣料品	138	
	医薬品	035		トッピング	087	衣類	139	
	医療用品	036		ドリンク	088	傘	140	
	栄養剤	037		生ビール	089	靴	141	
	衛生用品	038		日本酒	090	子供服	142	
	化粧品	039		ノアルコール	091	紳士服	143	
	介護用品	040		発泡酒	092	装飾品	144	
	解熱鎮痛剤	041		ビール	093	履物	145	
	外傷薬	042		フード	094	バッグ	146	
	外用薬	043	ブランデー	095	婦人服	147		
	漢方薬	044	モーニング	096	ベビー服	148		
	関節・筋肉痛	045	洋食セット	097	帽子	149		
	健康器具	046	ランチ	098	アクセサリー	150		
	健康食品	047	ワイン	099	小物	151		
	殺虫剤	048	和食セット	100	雑貨	152		
	湿布薬	049	アイス	101	生花	153		
	小児用薬	050	イスタ外食品	102	箱代	154		
	酔い止め	051	飲料	103	輸入雑貨	155		
	整腸剤	052	お米	104				

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定 (2/6)

商品名リスト (その2)

業種	商品名	コード	業種	商品名	コード	業種	商品名	コード
家電	オプション	156	その他 /物販	スポーツ用品	208	その他	工賃	260
	家電製品	157		タバコ	209		サービス料	261
	携帯電話	158		釣り用品	210		材料費	262
	サブライ	159		デコレーション	211		修理	263
	情報機器	160		時計	212		受講料	264
	消耗品	161		塗料	213		小人	265
	設定料	162		日用品	214		商品券	266
	テープ	163		農業用品	215		処分料	267
	電球・蛍光灯	164		農薬	216		進物	268
	電池	165		パラエティ	217		セール	269
	電池交換	166		肥料	218		設置料	270
	配線	167		物品販売	219		送料	271
	別売品	168		部品	220		中古品	272
	メディア	169		ペット	221		中人	273
書籍/ 文具 /AV	CD	170	ペット用品	222	注文品	274		
	DVD	171	防災用品	223	調整料	275		
	アルバム	172	メガネ	224	デジタルプリント	276		
	ゲーム	173	木材	225	手数料	277		
	コミック	174	輸入家具	226	手付金	278		
	雑誌	175	ラッピング代	227	電話代	279		
	参考書	176	旅行用品	228	登録料	280		
	事務用品	177	レンタル用品	229	特注品	281		
	趣味・娯楽	178	理容/ 美容	カット	230	塗装	282	
	書籍	179		カラー	231	特価品	283	
	新書	180		着付	232	取付料	284	
	新聞	181		シャンプー	233	入園料	285	
	専門誌	182		スキンケア	234	入場料	286	
	図書カード	183		セット	235	引取料	287	
ビデオ	184	トリートメント		236	フィルム	288		
文具	185	トリミング		237	プリントカード	289		
文芸	186	パーマ		238	容器代	290		
文庫	187	フェイス		239	リサイクル費用	291		
その他 /物品販売	DIY用品	188		ブロー	240	レンタル料	292	
	アウトドア用品	189		ヘアカラー	241	割増	293	
	園芸	190		ベビー	242	焼き増し	294	
	園芸用品	191		ボディ	243	前金	295	
	カー用品	192	メイク	244	土産品	296		
	家具	193	DPE	245	利用料	297		
	楽器	194	一式	246	その他	298		
	家庭用品	195	一般	247	初期設定*	PLU	299	
	金物	196	印刷	248		部門	300	
	玩具	197	延長	249	* : PLU や部門の後に番号は付かない			
	キッチン用品	198	大人	250				
	ギフト券	199	お直し	251				
	キャラクター商品	200	カード	252				
	工具	201	技術料	253				
コンタクト	202	キャンセル料	254					
梱包用品	203	クーポン	255					
作業用品	204	クリーニング	256					
写真	205	現像料	257					
種苗	206	限定品	258					
寝具	207	工事	259					

メッセージリストからボトムメッセージを設定する

例

ボトムメッセージ1行目に「またのご来店を」、2行目に「お待ちしております」と設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2 小計

1 2 3 2 PLU (ボトムメッセージ1行目の種別コードを指定します)

#/替 2 (「またのご来店を」のコードはメッセージリストから2)

現/預 (指定したキャラクタを設定します)

現/預 (続いて次のメモリに設定します)

#/替 4 (「お待ちしております」のコードはメッセージリストから4)

現/預

小計 (設定終了)

小計	¥14,520
非課税合計	¥3,000
合計	¥13,794
お預り	¥15,000
お釣	¥1,206

ポイント 右に、ボトムメッセージの位置とその種別コードを示します。なお、何も設定されていない行は印字も行送りもしません。

種別コード：1232	***ボトム1行目***
種別コード：1332	***ボトム2行目***
種別コード：1432	***ボトム3行目***
種別コード：1532	***ボトム4行目***
種別コード：1632	***ボトム5行目***

参照 ボトムメッセージを印字する設定が必要です。→ 74 ページ

ポイント メッセージリストです。この中からお使いになりたいメッセージを選んでください。

メッセージ内容	コード	メッセージ内容	コード	メッセージ内容	コード
またのお越しを	001	保管して下さい	021	新規会員募集中!	041
またのご来店を	002	開封後の返品・交換は	022	メール会員募集中!	042
またのご利用を	003	お受けできません	023	お早めにお召し上がり下さい	043
お待ちしております	004	返品はレシートを添えて	024	各種宴会ご予約承ります	044
お買い上げいただき	005	お持ちください	025	完全予約制	045
ご来店いただき	006	返品・交換はできません	026	着付けご予約承ります	046
毎度ご来店いただき	007	受付時間のご案内	027	記念写真ご予約受付中	047
ありがとうございました	008	営業時間のご案内	028	ケーキ予約受付中	048
毎度ありがとうございます	009	診療時間のご案内	029	ご予約承ります	049
有難うございます	010	今月は休まず営業します	030	配達承ります	050
お買い上げの商品価格には	011	年中無休	031	お問合わせはサービスカウンターまで	051
消費税等を含みます	012	ポイントは次回のお買い物に	032	定期点検を忘れずに	052
レシートは税込み価格で	013	ご使用ください	033	お大事にどうぞ	053
表示しております	014	キャンペーン実施中!	034	どうぞお大事に	054
レシートの再発行はできません	015	ｸﾞﾗﾌﾞﾝセール実施中!	035	月初めは保険証を	055
レシートの再発行は	016	決算セール実施中!	036	ご呈示下さい	056
致しかねます	017	ご紹介キャンペーン実施中!	037	お薬は用法用量を	057
レシートは大切に保管ください	018	サービスデー実施中!	038	守ってご使用ください	058
印刷面を内側に折って	019	バーゲンセール実施中!	039	携帯電話からｱｸﾛができます	059
レシートは大切に	020	カード会員募集中!	040	(空白)	060

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定 (3/6)

1文字ずつ入力し、必要に応じて漢字変換する

前節では、リスト中の商品名やメッセージから適切なものを選びその番号を設定する方法を述べました。この節では、1文字ずつ手入力し必要に応じて漢字変換して設定する方法を説明します。

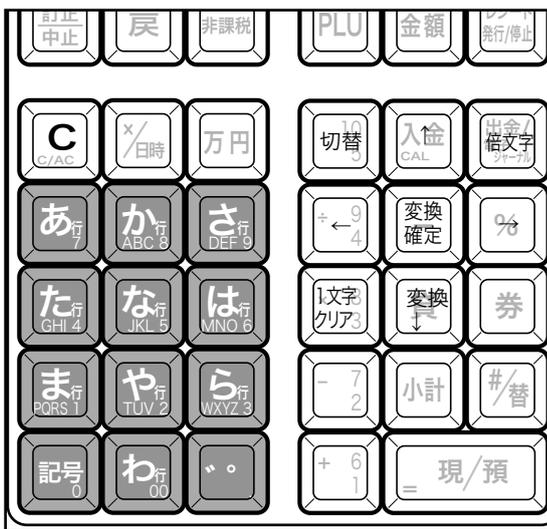
文字の入力について

「かなめくり方式」という携帯電話に似た文字入力方法です。〈切替〉キーによって入力される文字の種類（ひらがな・カタカナ・英文字・数字）などを切り替え、置数キーによって50音などに基づいた文字を入力できます。また、ひらがなで入力したものは、続いて〈↑〉や〈変換〉キーを押すことで、単漢字または単語ごとのかな漢字変換をすることができます。

(内蔵するかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、お客様の希望する漢字への変換ができない場合があります。そのときは、入力したい漢字の読み(音読み・訓読み)を変えて入力し、変換して下さるようお願いいたします。)

●文字設定時のキーボード

文字の設定をする時には、キーボードは以下の様な配列になります。



参照 それぞれのキーの機能 → 63 ページ

●文字設定時のメイン表示

文字の設定をする時には、メイン表示は以下の内容になります。



- 入力中または操作中の文字 (反転表示)
- 文字入力モードを表示
: 漢あ かつか ABab 1234 など
- 設定可能な文字数 (半角文字での) を表示
- 入力文字数 (半角文字での) を表示

商品名やメッセージの設定 (4/6)

部門キーへ商品名等を設定する

例

部門 01 () に『雑貨』、部門 02 () に『食品 A』、部門 06 () に『ETC』と設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2 小計



(部門 01 を指定します)



<文字列クリア>

(すでに設定されている文字を消します)

「さ」 <さ>

「ざ」 <` `>

「っ」 <た>>た>>た>>た>>た>>た>>

「か」 <か>

<↓変換><変換確定>

(<↓変換>は「雑貨」が出るまで繰り返します)

(これで『雑貨』が部門 01 に設定されます)



(次のメモリを指定します)





<文字列クリア>

(すでに設定されている文字を消します)

「し」 <さ>>さ>

「よ」 <や>>や>>や>>や>>や>>や>>

「く」 <か>>か>>か>

「ひ」 <は>>は>

「ん」 <わ>>わ>>わ>

<↓変換><変換確定>

(<↓変換>は「食品」が出るまで繰り返します)

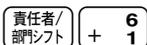
<切替>>切替>>倍文字>

(切替キーで半角英字、倍文字で全角英字にします)

「A」 <か>

(英文字 A を指定します)





(部門 06 を指定します)



<文字列クリア>

(すでに設定されている文字を消します)

(全角英字のまま、使います)

「E」 <さ>>さ>

「T」 <や>

「C」 <か>>か>>か>





(設定終了)

 ポイント 部門キーへは、半角で最大 12 文字 (全角では 6 文字) が設定できます。

PLUへ商品名等を設定する

例

PLU番号71に半角で『カー-Yシャツ』、PLU番号72に『ジーンズ』、PLU番号90に『サービス品』と設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2	小計		
7	1	PLU	(PLU71を指定します)
		C/JAC	<文字列クリア> (すでに設定されている文字を消します)
			<切替> (半角ががかに切り替えます)
		「カ」	<か>
		「ラ」	<ら>
		「一」	<記号><<記号><<記号>
			<切替> (半角英文字に切り替えます)
		「Y」	<ら><<ら><<ら>
			<切替><<切替><<切替> (半角ががかに切り替えます)
		「シ」	<さ><<さ>
		「ヤ」	<や><<や><<や><<や>
		「ツ」	<た><<た><<た>
		現/預	(これでカー-YシャツがPLU71に設定されました)
		現/預	(続いて次のメモリに設定します)
		C/JAC	<文字列クリア> (すでに設定されている文字を消します)
			<倍文字> (全角カタカナに切り替えます)
		「シ」	<さ><<さ>
		「ジ」	<ゝ・>
		「一」	<記号><<記号><<記号>
		「ン」	<わ><<わ><<わ>
		「ス」	<さ><<さ><<さ>
		「ズ」	<ゝ・>
		現/預	
9	0	PLU	(PLU90を指定します)
		C/JAC	<文字列クリア> (すでに設定されている文字を消します)
		「サ」	<さ>
		「一」	<記号><<記号><<記号>
		「ヒ」	<は><<は>
		「ビ」	<ゝ・>
		「ス」	<さ><<さ><<さ>
			<切替><<切替><<切替> (全角ひらがなに切り替えます)
		「ひ」	<は><<は>
		「ん」	<わ><<わ><<わ>
			<↓変換><<変換確定> (「品」が出るまで繰り返します)
		現/預	
		小計	(設定終了)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



ポイント PLUへは、半角で最大12文字(全角では6文字)が設定できます。

商品名やメッセージの設定 (5/6)

担当者の名前を設定する

例

「担当者-01」を『鈴木』に、「担当者-05」を『原』にする

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2	小計		
0 1	責任者/ 部門ソフト		(担当者番号を置数し  を押します)
		<文字列クリア>	(すでに設定されている文字を消します)
		「す」 <さ><さ><さ>	
		<→>	(同じ行なのでカーソルを右に動かします)
		「す」 <さ><さ><さ>	
		「ず」 <` ` >	
		「き」 <か><か>	
		<↓変換><変換確定>	(「鈴木」が出るまで繰り返します)
	現/預		
0 5	責任者/ 部門ソフト		(担当者番号を置数し  を押します)
			(上記を参照してください)
	現/預		
	小計		(設定終了)

 **ポイント** 担当者名は、半角で最大 12 文字（全角では 6 文字）が設定できます。

取引キーの印字文字を変更する

例

 キーの印字を『掛売り』にする

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2	小計		
			(信用売キーを指定します)
		<文字列クリア>	(すでに設定されている文字を消します)
		「か」 <か>	
		<→>	(同じ行なのでカーソルを右に動かします)
		「け」 <か><か><か><か>	
		「う」 <あ><あ><あ>	
		「り」 <ら><ら>	
		<↓変換><変換確定>	(「掛売り」が出るまで繰り返します)
	現/預		
	小計		(設定終了)

 **ポイント** 取引キーへは、半角で最大 8 文字（全角では 4 文字）が設定できます。

レシートメッセージを設定する

レシートには以下の 7 種類のメッセージを印字することができます。

1. 電子店名スタンプ代わりに印字する「ロゴメッセージ」..... 最大 6 行
2. 電子店名スタンプ代わりに 1. の下に印字する「コマーシャルメッセージ」..... 最大 5 行
3. レシートの最後に印字する「ボトムメッセージ」..... 最大 5 行
4. 予約券の頭に印字する「予約券タイトル」..... 1 行
5. 予約券の予約日時の上に印字する「予約メッセージ1」..... 最大 4 行
6. 予約券の予約日時の下に印字する「予約メッセージ2」..... 最大 4 行
7. クーポン券の最後に印字する「クーポンメッセージ」..... 最大 6 行

各メッセージは 1 行最大 24 文字（半角の場合、全角では 12 文字）のキャラクタを設定できます。

例

ロゴメッセージに右記の内容を設定する

毎度ありがとうございます
カシオ商店

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

参照 レシートメッセージを印字する設定が必要です。→ 74 ページ

2	小計	
1	3	2
	小計	
	C/AC	C
		<文字列クリア>
		「ま」 <ま>
		「い」 <あ><あ>
		:
	現/預	現/預
		(続いて次のメモリに設定します)
	C/AC	C
		<文字列クリア>
		<切替><倍文字><倍文字>
		(全角倍角カタカナに切り替えます)
		「カ」 <か>
		「シ」 <さ><さ>
		:
	現/預	
	小計	
		(設定終了)

(ロゴ 1 行目の種別コード：132 を入力します)

(すでに設定されている文字を消します)

(続いて次のメモリに設定します)

(すでに設定されている文字を消します)

(全角倍角カタカナに切り替えます)

(設定終了)

ポイント メッセージの内容と設定するための操作コード一覧表です。

メッセージ内容	お買い上げ時の内容	操作コード	メッセージ内容	お買い上げ時の内容	操作コード
ロゴ 1 行目		132	予約券タイトル	*** ご予約券 ***	1732
ロゴ 2 行目		232	予約券メッセージ 1 1 行目	様	1832
ロゴ 3 行目		332	予約券メッセージ 1 2 行目	下記のとおり、	1932
ロゴ 4 行目		432	予約券メッセージ 1 3 行目	ご予約を承りました。	2032
ロゴ 5 行目		532	予約券メッセージ 1 4 行目		2132
ロゴ 6 行目		632	予約券メッセージ 2 1 行目		2232
コマーシャル 1 行目		732	予約券メッセージ 2 2 行目		2332
コマーシャル 2 行目		832	予約券メッセージ 2 3 行目		2432
コマーシャル 3 行目		932	予約券メッセージ 2 4 行目		2532
コマーシャル 4 行目		1032	クーポン券メッセージ 1 行目	◇印刷面を内側に折って◇	2632
コマーシャル 5 行目		1132	クーポン券メッセージ 2 行目	◇保管してください ◇	2732
ボトム 1 行目		1232	クーポン券メッセージ 3 行目		2832
ボトム 2 行目		1332	クーポン券メッセージ 4 行目		2932
ボトム 3 行目		1432	クーポン券メッセージ 5 行目		3032
ボトム 4 行目		1532	クーポン券メッセージ 6 行目		3132
ボトム 5 行目		1632			

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定 (6/6)

その他、文字の設定できる項目について

商品名、メッセージ、キー名称、担当者名以外に本機では、

1. 固定合計器レポート上の項目（総売、純売など）
2. レポート頭の項目（レポートタイトル：日計明細や時間帯など）
3. 特殊キャラクタ（¥マーク、小計／預かり印字など）

で印字や表示される文字を変更することが可能です。

設定手順は、前に述べたメッセージの設定方法と同じです。（操作コードだけは異なります）

注意 これらの項目の設定ミスをすると、レシートやレポートの意味が変わったり、意味を持たなくなる可能性がありますので、設定変更には十分に注意してください。

ポイント 固定合計器、レポートタイトル、特殊キャラクタの設定内容と操作コードを以下に示します。

固定合計器内容	お買い上げ時の内容	操作コード
総売上合計	総売	101
純売上合計	純売	201
現金在高	現金在高	301
(未使用)		401
商品券在高	券在高	501
クレジット在高	信在高	601
(未使用)		701
(未使用)		801
(未使用)		901
(未使用)		1001
消費税対象額 (内税用)	内税対象額	1101
消費税額 (内税用)	内税	1201
消費税対象額 (外税用)	外税対象	1301
消費税額 (外税用)	消費税等	1401
(未使用)	内税対象額2	1501
(未使用)	内税2	1601
(未使用)	外税対象2	1701
(未使用)	消費税等	1801
消費税合計額	消費税合計	1901
非課税対象額	非課税合計	2001
万券枚数	万円	2101
丸め合計	サービス	2201
取引中止合計	取引中止	2301
戻モード合計	戻モード	2401
(未使用)		2501
電卓モード<=>回数	電卓	2601
部門リンクなしのPLU合計	ノンリンク	2701
印紙貼付の領収書枚数	領収書 印紙	2801
印紙貼付なし領収書枚数	領収書	2901

特殊キャラクタ内容	お買い上げ時の内容	操作コード
金額 (2) 単価 (2) 件数 (2) レポート回数 (2) 各シンボル	¥ @ 件 点	123
買上点数 (2) 未使用 (2) 万円枚数 (2) 未使用 (2)	点 名 枚	223
乗算個数 (2) 未使用 (6)	点 /	323
課税ステータス1~4 (各2)	内 外 内 外	423
オール課税ステータス (2) 非課税ステータス (2)	* 非	523
(未使用)		623
モード表示 / 印字、登録、戻 (各4)	戻	723
モード表示 / 印字、未使用 (4)、設定 (4)	P:G:M	823
モード表示 / 印字、点検、精算 (各4)	点 検 精 算	923
モード表示 / 印字、電卓 (4)、未使用 (4)	電 卓	1023
(未使用)		1123
(未使用)		1223
預かり時小計印字 (8)	合 計	1323
預かり時釣り銭印字 (8)	お 釣	1423
現金預かり印字 (8)	お 預 り	1523
後レシートでの合計金額印字 (8)	合 計	1623
小計割引 (割増) や、丸め前的小計印字 (8)	小 計	1723
12時制での時刻印字 (各3)	A:M P:M	1823
消費税合計 (8)	消 費 税 計	1923
PCへのデータ送信メッセージ (8)	* * 送 信 * *	2023
PCからのデータ受信メッセージ (8)	* * 受 信 * *	2123
AUTO PGM 通信メッセージ (8)	A:U:T:O P:G:M	2223
送受信正常終了メッセージ (8)	正 常 終 了	2323
送受信異常終了メッセージ (8)	異 常 終 了	2423
強制終了メッセージ (8)	* * 終 了 * *	2523
レポート合計印字 (8)	合 計	2623
(未使用)		2723
(未使用)		2823
(未使用)		2923
純売税込み用 (8)	税 込	3023
純売税抜き用 (8)	税 抜	3123
点検通信 (8)	点 検	3223
精算通信 (8)	精 算	3323
予約券発行時表示メッセージ (8)	ご 予 約 券	3423
クーポン券ポイント印字 (8)	ポ イ ン ト	3523

レポート内容	お買い上げ時の内容	操作コード
日計明細集計	日計明細	124
PLU集計	P L U	224
時間帯集計	時間帯	324
グループ集計	グループ	424
(未使用)	担当者	524
在売点検	在売点検	624
月間集計	月間日別	724
期間集計1	期間集計1	824
期間集計2	期間集計2	924
個別点検 (アイテム)		1024
(未使用)		1124
電子ジャーナル	電子ジャーナル	1224

その他の設定 (1 / 4)

本機には、便利な機能が豊富に備えられています。必要に応じて設定をしてください。

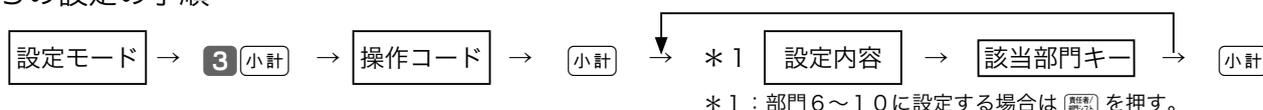
注意 お買い上げ後は、下線で示した機能になっています。

部門キーにいろいろな機能を設定する (部分設定)

部門キーには以下に記載した、いろいろな機能を設定して持たせることができます。

1. 負単価部門にする設定 操作コード：0166
2. グループリンクの設定 操作コード：1166
3. 入力桁制限の設定 操作コード：1566
4. 単品売りの設定 操作コード：1866

これらの設定の手順



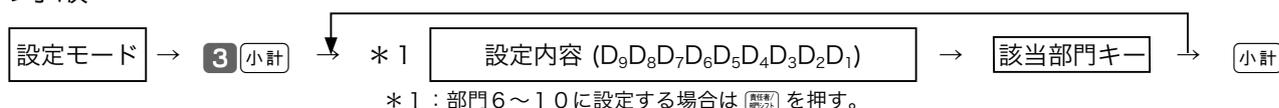
それぞれの操作コードでの設定内容

操作コード	設定内容	備考
0166	<u>通常部門</u> = 0、 <u>負単価部門</u> = 2	負単価部門は値引やクーポン券などの登録に用います。
1166	リンクグループ番号を2桁で入力 (00～10)	グループ別 (大分類) に分けて集計します。
1566	1～6桁の登録可能 = 1～6 <u>入力制限しない</u> = 0、7 <u>置数入力できない</u> = 8、9	設定された桁以上の単価登録を禁じます。
1866	<u>通常部門</u> = 0、 <u>単品売り</u> = 1	単品売りでは自動的に をが押されたように動作します。

部門キーにいろいろな機能を設定する (一括設定)

部門キーそれぞれにいろいろな機能をまとめて設定することもできます。

設定の手順



設定内容

設定内容	設定する桁
<u>通常部門</u> = 0、 <u>負単価部門</u> = 2	D ₉
<u>通常部門</u> = 0、 <u>単品売り</u> = 1	D ₈
1～6桁の登録可能 = 1～6 <u>入力制限しない</u> = 0、7 <u>置数入力できない</u> = 8、9	D ₇
<u>通常部門</u> = 0、 <u>非課税部門</u> = 6	D ₆
"000"を入力する	D ₅ 、D ₄ 、D ₃
リンクグループ番号を2桁で入力 (00～10)	D ₂ 、D ₁

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

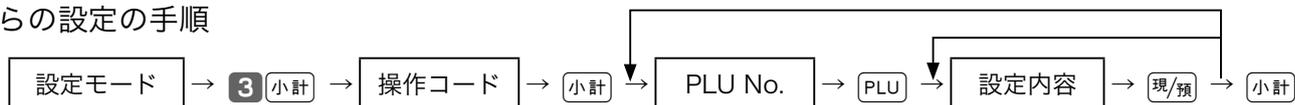
その他の設定 (2/4)

PLU にいろいろな機能を設定する (部分設定)

PLU には以下に記載した、いろいろな機能を設定して持たせることができます。

1. 負単価部門にする設定 操作コード：0166
2. 部門リンクの設定 操作コード：1166
3. 品番 PLU の入力桁制限の設定 操作コード：1566
4. 単品売り/品番 PLU の設定 操作コード：1866

これらの設定の手順



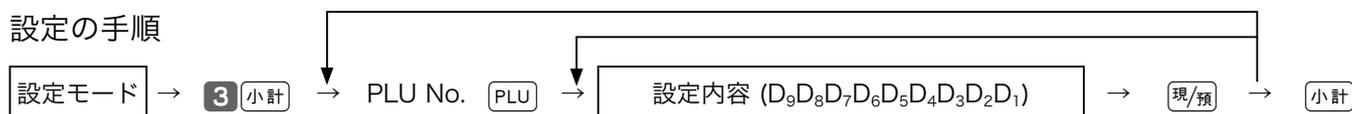
それぞれの操作コードでの設定内容

操作コード	設定内容	備考
0166	通常 PLU = 0、負単価 PLU = 2	負単価 PLU は値引やクーポン券などの登録に用います。
1166	リンク部門番号を 2 桁で入力して、その後に 00 を付けます (0000 ~ 1000)	部門別 (中分類) に分けて集計します。 (4 桁で入力します)
1566	1 ~ 6 桁の登録可能 = 1 ~ 6 入力制限しない = 0、7 置数入力できない = 8、9	品番 PLU で、設定された桁以上の単価登録を禁じます。
1866	通常 PLU = 0、単品売り PLU = 1、 品番 PLU = 4、単品売り品番 PLU = 5	単品売りでは自動的に [現/預] をが押されたように動作します。

PLU にいろいろな機能を設定する (一括設定)

PLU それぞれにいろいろな機能をまとめて設定することもできます。

設定の手順



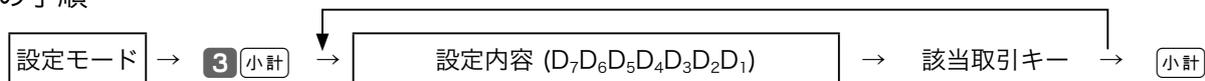
設定内容

設定内容	設定する桁
通常 PLU = 0、負単価 PLU = 2	D ₉
通常 PLU = 0、単品売り PLU = 1、 品番 PLU = 4、単品売り品番 PLU = 5	D ₈
品番 PLU の 1 ~ 6 桁の登録可能 = 1 ~ 6 入力制限しない = 0、7 置数入力できない = 8、9	D ₇
通常 PLU = 0、非課税 PLU = 6	D ₆
"0" を入力する	D ₅
リンク部門番号を 2 桁で入力 (00 ~ 10)	D ₄ , D ₃
"00" を入力する	D ₂ , D ₁

各キーにいろいろな機能を設定する

取引キーそれぞれにいろいろな機能を設定できます。

設定の手順



現/預, 券, 信 の設定内容

設定内容	設定する桁
"0"を入力する	D ₇
小計/預かり金の金額制限 (5000 の場合 53)、"00" で制限せず	頭の数字、ゼロの数
A: 一部入金可 = 0、一部入金不可 = 1	A+B+C →
B: 置数入力可 = 0、置数入力不可 = 2、(信) は置数入力不可	
C: 預かり強制 = 4、預かり強制でない = 0	
消費税の明細を印字する = 1、印字しない = 0	D ₃
釣り銭の金額制限 (200 の場合 22)、"00" で制限せず	頭の数字、ゼロの数
	D ₂ , D ₁

入金, 出金/貯金/残高 の設定内容

設定内容	設定する桁
"0"を入力する	D ₇
置数の金額制限 (5000 の場合 53)、"00" で制限せず	頭の数字、ゼロの数
"0000"を入力する	D ₄ , D ₃ , D ₂ , D ₁

万円 の設定内容

設定内容	設定する桁
"000"を入力する	D ₇ , D ₆ , D ₅
千円として使用する = 1、万円として使用する = 0	D ₄
"000"を入力する	D ₃ , D ₂ , D ₁

- の設定内容

設定内容	設定する桁
"0"を入力する	D ₇
小計値は値引で負にできない = 0、小計値を負にできる = 1	D ₆
入力桁制限、"0" で制限せず (機能詳細は部門の入力桁制限 → 69 ページ参照)	D ₅
値引対象は：非課税商品 = 6、内税商品と非課税商品 = 5、内税商品 = 0	D ₄
"000"を入力する	D ₃ , D ₂ , D ₁

% の設定内容

設定内容	設定する桁
端数四捨五入 = 0、切捨て = 1、切上げ = 2	D ₇
A: 割引キー = 0、割増しキー = 1	A+B →
B: 置数でのレート入力不可 = 1、置数でのレート入力可能 = 0	
"0"を入力する	D ₅
割引対象は：非課税商品 = 6、内税と非課税商品 = 5、内税商品 = 0	D ₄
"000"を入力する	D ₃ , D ₂ , D ₁

#/替 の設定内容

設定内容	設定する桁
"0"を入力する	D ₇
不計算印字後モード替え不可 = 1、モード替え可能 = 0	D ₆
"00000"を入力する	D ₅ , D ₄ , D ₃ , D ₂ , D ₁

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

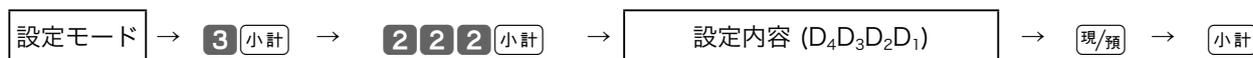
こんなときは

その他の設定 (3/4)

ストアまたはマシン番号を設定する

レジスタを何台か使っている場合にレシートの区別を付けるために設定します。

設定の手順



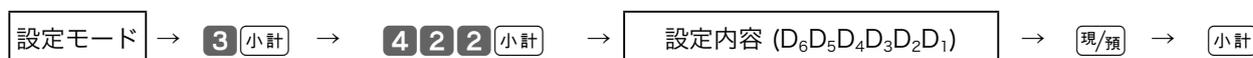
設定内容

設定内容	設定する桁
ストアもしくはマシン番号を4桁で入力する、"0000"で印字しない	D ₄ , D ₃ , D ₂ , D ₁

合計まるめを設定する

合計額に対する5円、10円まるめを設定します。

設定の手順



設定内容

設定内容	設定する桁
まるめなし=0、5円まるめ=1、10円まるめ=2	D ₆
"00000"を入力する	D ₅ , D ₄ , D ₃ , D ₂ , D ₁

レシート/ジャーナルの印字項目を設定する

レシート/ジャーナルの切り替えや印字項目を設定できます。

設定の手順



設定内容

設定内容	設定する桁
預かり時に合計行を印字する=0、合計行を印字しない=1	D ₈
A: 時刻を印字する=0、時刻を印字しない=1 B: ジャーナル上の日付を印字しない=0、日付を印字する=2 C: 一連番号を印字する=0、一連番号を印字しない=4	A+B+C → D ₇
A: プリンタはレシート発行用=0、ジャーナル印字用=1 B: 後レシートは <small>（印刷機）</small> で発行=0、後レシートは自動的に発行=2 C: 後レシートに明細を印字する=0、後レシートは合計だけを印字する=4	A+B+C → D ₆
買い上げ点数を印字しない=0、印字する=4	D ₅
A: ジャーナルスキップしない=0、ジャーナルスキップする=1 B: <small>（小計）</small> で印字しない=0、印字する=2 C: 時計は24時間制=0、12時間制=4	A+B+C → D ₄
A: 金額桁区切りをカンマで印字=0、金額桁区切りをピリオドで印字=1 B: 小数点をピリオドで印字=0、小数点をカンマで印字=1 C: ジャーナルを普通文字で印字する=0、ジャーナルを圧縮文字で印字する=4	A+B+C → D ₃
A: 税金の前に区切りの破線印字をしない=0、破線印字をする=1 B: 税金の合計額を印字しない=0、合計額を印字する=2	A+B → D ₂
レシートを普通文字で印字する=0、縦倍文字で印字=2	D ₁

レジスタの強制機能や演算方式を設定する

レジスタの強制機能や演算方式を設定できます。

設定の手順



設定内容

設定内容	設定する桁
A: 締め操作時に 小計 入力を強制しない=0、強制する=2 B: 点検/精算時の在高入力を強制しない=0、強制する=4	A+B → D ₈
"00" を入力する	D ₇ , D ₆
乗算の入力順を 個数×単価とする=0、単価×個数とする=2	D ₅
A: レシート発行中のキーバッファクリアしない=0、クリアする=1 B: 担当者をレシート発行毎にサインオフする=2、サインオフ操作による=0 C: 登録確認音を消す=4、登録確認音を消さない=0	A+B+C → D ₄
A: 時刻表示は時分のみ=0、時分と秒を表示する=2 B: 戻モードの件数は加算する=0、減算する(レジマイナスモード)=4	A+B+C → D ₃
A: 一連番号を日計明細精算後0に戻す=0、そのまま加算する=1 B: 取引中止キーは操作可能=0、操作できない=2	A+B → D ₂
A: <00>として使用する=0、<000>として使用する=1 B: 担当者機能を使用する=4、担当者機能を使用しない=0	A+B → D ₁

点検/精算レポートの印字内容を設定する

点検/精算レポートの印字項目を設定できます。

設定の手順



設定内容

設定内容	設定する桁
A: 電子ジャーナルが一杯になったとき、報知しない=0、報知する=1 *1 B: 日計明細精算レポートに開始一連番号を印字する=4、印字しない=0	A+B → D ₆
A: 明細レポートでの0売上の部門、取引項目をスキップ=0、スキップしない=1 B: PLUレポートでの0売上項目をスキップ=0、スキップしない=2 C: 時間帯レポートでの0売上項目をスキップ=0、スキップしない=4	A+B+C → D ₅
A: レポート上に売上構成比を印字する=1、印字しない=0 B: 累計(GT)を印字しない=2、印字する=0	A+B+C → D ₄
明細レポートに戻合計を印字する=0、印字しない=1	D ₃
"00" を入力する	D ₂ , D ₁

*1: 電子ジャーナルが一杯になりそうなときに報知し始めます。また、「報知しない」と設定すると日計明細精算レポート後に電子ジャーナルが消去されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

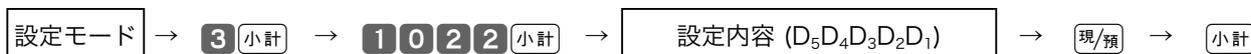
こんなときは

その他の設定 (4 / 4)

電卓モードの機能を設定する

電卓モードでの機能を設定できます。

設定の手順



設定内容

設定内容	設定する桁
A: <small>現/預</small> キーでドリアを開けない=0、開ける=1	A+B+C → D ₅
B: <small>#/替</small> キーでドリアを開けない=0、開ける=2	
C: <small>現/預</small> キー押下回数を明細レポートに印字する=0、印字しない=4	
"0000"を入力する	D ₄ , D ₃ , D ₂ , D ₁

レシートメッセージの内容を設定する

レシートメッセージの印字内容を設定できます。

設定の手順



設定内容

設定内容	設定する桁
A: 電子店名スタンプに設定されたロゴを印字する=0 *1、 レジに設定したロゴメッセージを印字する=1	A+B+C → D ₈
B: 電子店名スタンプに設定された商業メッセージを印字する=0 *2、 レジに設定した商業メッセージを印字する=2	
C: ボトムメッセージを印字する=4、印字しない=0	
"0000000"を入力する	D ₇ , D ₆ , D ₅ , D ₄ , D ₃ , D ₂ , D ₁

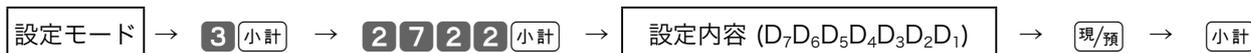
*1：電子店名スタンプを挿入していない場合、「御計算書」の文字を印字します。

*2：電子店名スタンプを挿入していない場合、何も印字されず、空白も空きません。

領収書の内容を設定する

領収書の印字内容を設定できます。

設定の手順



設定内容

設定内容	設定する桁
但し書き内容： お品代=1、 お食事代=2、 ご飲食代=3、 手数料=4、 印紙代=5、 証紙代=6、 お薬代=7、 治療費=8、 書籍代=9、 印字無し=0	D ₇
日計明細精算後に領収書用一連番号をリセットしない=0、リセットする=1	D ₆
A: 領収書上に税金項目を印字する=0、印字しない=1	A+B+C → D ₈
B: 領収書上にレシート用の一連番号を印字する=0、印字しない=2	
C: 領収書タイトルを領収「書」=0、領収「証」=4	
印紙貼付金額の1/100の値 (¥30,000では0300と入力する) (印紙貼付枠を印字したくないときは"0000"を入力します)	D ₄ , D ₃ , D ₂ , D ₁

サーマルポップや背景印字を設定する

レシートや領収書に印字する、サーマルポップや背景を設定できます。

設定の手順



設定内容

設定内容	設定する桁
電子店名スタンプ内に設定されたサーマルポップを印字しない=1、印字する=0 *1	D ₄
"0"を入力する	D ₃
レシートに背景を印字する=1、印字しない=0	D ₂
領収書に背景を印字する=1、印字しない=0	D ₁

*1：ただし、電子店名スタンプが挿入されていない場合はサーマルポップは印字されません。

メイン表示/客用表示の機能を設定する

メイン表示のバックライトや客用表示消灯機能を設定できます。

設定の手順



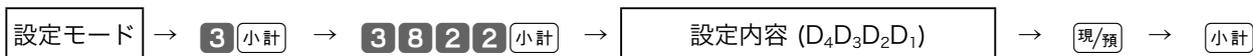
設定内容

設定内容	設定する桁
客用表示を使う=0、客用表示を使わない(何も表示しない)=1	D ₅
メイン表示のバックライトを使用する=0、バックライトを使用しない(点灯しない)=1	D ₄
"0"を入力する	D ₃
バックライトオフタイマ (01～59分；00の設定時はバックライトオフしない)	D ₂ , D ₁

クーポン券のポイント率を設定する

クーポン券発行のためのポイント率を設定できます。

設定の手順



設定内容

設定内容	設定する桁
クーポン券の整数部のポイント率 (00～99)	D ₄ , D ₃
クーポン券の小数部のポイント率 (00～99)	D ₂ , D ₁

担当者の担当者番号を設定する

担当者指定のための担当者番号を設定できます。

設定の手順



設定内容：メモリ番号は01～10まで、担当者番号は0001～9999までの任意の数値

注意 お買い上げ後は、メモリ番号が担当者番号になっています (0001～0010)。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レジの設定内容を確認する

設定内容を確認する

設定されている内容の確認（「設定点検」と言います）は、①単価／レートなどの内容の確認、② PLU に設定された単価／商品名の確認③キー機能／レジスタ機能の内容の確認、④キー名／メッセージなどの確認、の4つに分けられます。それぞれ以下のように操作します。

No	内容	操作
①	部門の単価、%レート、簡易設定項目の確認	設定モード→ 1 小計 → 小計
②	PLU の商品名、単価項目の確認	設定モード→ 6 小計 → 小計
③	部門の商品分類名、取引キー名称、メッセージ項目の確認	設定モード→ 2 小計 → 小計
④	キーの機能、レジスタの機能項目の確認	設定モード→ 3 小計 → 小計

部門の単価、%レート、簡易設定項目の設定点検

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

1 小計 小計

印字例

PGM1			設定1点検のタイトル
部門 01	非	@100	部門商品名 / 税シンボル / 単価
部門 02	内	@220	
部門 03	内	@0	
部門 09	内	@0	
部門 10	内	@0	
—	*	@50	値引キー / 値引単価
%	内	5%	%キー / パーセントレート
10100		00	簡易設定 10100 *
10200		000	簡易設定 10200 *
10400		00	簡易設定 10400 *
丸め		00	まるめ *

* 設定内容は 53 ページ参照

PLU の単価、設定項目の設定点検

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6 小計 小計

印字例

PGM6			設定6点検のタイトル
PLU0001	非	0001	PLU 商品 / 税シンボル / メモリ番号
0000000000		@100	
PLU0002	内	0002	
0000000000		@200	設定3での設定内容 (70 ページ参照) / 単価
PLU0003	内	0003	
0000000000		@300	
PLU0600	内	0000	
0000000000		@0	



商品名、メッセージ項目の設定点検

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2 小計 小計

印字例

PGM2.....		設定2点検のタイトル
総売	01	
純売	02	
現金在高	03	固定合計器項目名/メモリ番号 (68 ページ参照)
領収書印紙	04	
領収書	29	
現金	01	
小計	02	
	03	キー名称/メモリ番号
	04	
訂正	29	
部門 01	01	
部門 02	02	
部門 03	03	部門商品名称/メモリ番号
	04	
部門 09	09	
部門 10	10	
担当 -01	01	
担当 -02	02	
担当 -03	03	担当者名称/メモリ番号
	04	
担当 -09	09	
担当 -10	10	
GT	01	GT (累計) 名称
¥ @ 件点	01	
点名枚	02	
点/	03	特殊キャラクタ/メモリ番号 (68 ページ参照)
	04	
電子納券	35	
ポイント	01	
日計明細	02	
PLU	03	レポートタイトル/メモリ番号 (68 ページ参照)
時間帯	04	
電子ジャーナル	12	
	01	
	02	レシートメッセージ/メモリ番号 (61, 67 ページ参照)
	31	

キー機能、レジスタ機能項目の設定点検

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

3 小計 小計

印字例

PGM3.....		設定3点検のタイトル
0122	00000010	
0222	00002070	
0522	00000000	全体設定項目名/設定内容 (72-75 ページ参照)
	00000000	
3422		
3822	00000000	
0126	5% 内	
	5% 外	現行税テーブル/レート / 外税・内税
	0% 内	
	0% 外	
0226	0000	税金端数処理 (57 ページ)
0326	00000410	税金印字制御 (57 ページ)
0127	0% 外	
	0% 外	税改定後税率/レート / 外税・内税
	0% 外	
	0% 外	
0427	000000	税改定予定日
担当 -01	01	
	0001	
担当 -02	02	担当者名/メモリ番号
	0000	担当者番号
担当 -10	10	
	0010	
部門 01	01	
0100000000	@100	
部門 02	02	
0200000000	@200	部門商品名/メモリ番号
部門 03	03	部門キー設定内容 (69 ページ参照) / 単価
0900000000		
部門 10	10	
1000000000	@0	
現金	00000000	
小計	00000000	取引キーキャラクタ/取引キー設定内容 (71 ページ参照)
	00000000	
訂正	00000000	
	00000000	
 8888 税	課税/非課税レジスタ切換 (非課税時は 9999 非と印字)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

故障かなと思ったら

こんなときには

こんなとき	ここをお確かめください（次の対応をお願いします）	参照ページ
ドドア（引き出し）が開かない	硬貨や紙幣が詰まっていないか、ご確認ください 「ドドアが開かなくなったとき」をお読みください	78
表示がつかない	差し込みプラグがしっかりとコンセントに挿してありますか コンセントまで電気が来ていますか	---
レシート発行／停止のランプが点滅した	レシート用紙を補給してください 紙押さえ（プラテンアーム）がきちんと閉められているか確認してください	82 79
レシート、領収書、またはジャーナルが発行されない	ロールペーパーにはまだ残りがありますか、確認してください レシートの場合、レシート発行停止になっていませんか、確認してください。	81、82 11
ジャーナルが巻き取られない	紙詰まりを起こしていないか確認してください ジャーナル用紙が巻き取りホルダにきちんとセットされているか確認してください 巻き取りホルダがホルダ受けに確実にセットされているか確認してください	81 80 80
印字をしない	紙詰まりを起こしていないか確認してください	81、82
印字がうすい	ロールペーパーを裏表逆に取り付けていませんか	79、80
印字ムラがある	カシオ推奨の感熱紙のロールペーパーをお使いください（普通紙は使用できません）	裏表紙
レポートやレシートが早く なったり遅くなったりする	これは故障ではありません 印刷する行の印字濃度（文字の濃さ）によって印字する速度を変えています	---
「紙押えを押し込んで下さい」と表示される	紙押さえ（プラテンアーム）をカチッとロックされるまで押し込んでください	79、80

キャラクタ表示部に、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス（案内表示）が出ましたら、それに従ってエラー解除をおこない、正しくご使用ください。

また、キーを押していただくと、いろいろな機能やその使用方法を説明したレシートを発行します。

正しく動作しないとき

レジ操作中に、エラー音が“ピーツ”と鳴ることがあります。これは、機械が操作ミスを検出したしるしですが、通常はエラーの自動解除機能によりそのまま操作を続けることができます。

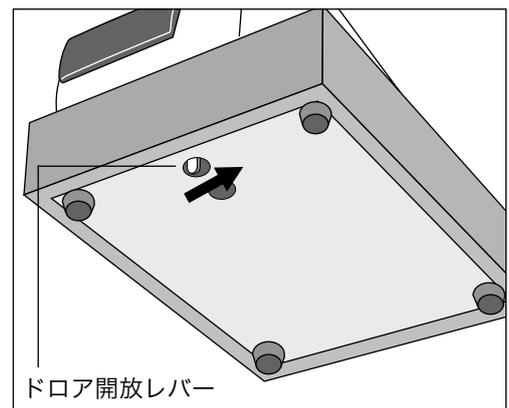
操作ミスのエラーなどを強制的に解除する方法として、**強制解除** キーを続けて2回押す方法があります。このときは以下の注意が必要です。

注意 「登録」または「戻」中に **強制解除** キーを2回続けて押した場合は、「現金」での売上（戻し）として処理されます。これを売上から取り消したい場合は、「登録」の場合は「返品処理」を、「戻」の場合は「売上登録」をおこないます。

ドドアが開かなくなったとき

万一、停電や故障などでドドアが開かなくなったときは、ドドア底面の金具（ドドア開放レバー）を矢印の方向に動かすと開きます。

ポイント ドドアロック錠（梱包箱：付属品欄参照）がかかっている場合は開きませんので、ロックを解除してから行ってください。



ドドア開放レバー

消耗品のセットと交換 (1 / 3)

ロールペーパーをセットする (レシート)

印字用紙を「レシート」として使う場合の、ロールペーパーのセット方法を以下に示します。

手順

1 モードスイッチを「登録」の位置にします。



2 プリンタオープンキー (OPEN) を押して、プリンタを開けます。



3 ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



4 ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡します。



5 ロールペーパーをプラテンで挟み込みながら、プリンタをカチッと閉じます。



6 余分な紙を切り取ります。



- ・本機は、必ずロールペーパーを取り付けてご使用ください。ロールペーパーを取り付けずに使用することはできません。
- ・ロールペーパーの規格は 紙幅 58 mm × 外径 80 mm の感熱記録紙です。ロールペーパーは当社指定のものをご使用ください。指定品以外の用紙をご使用になりますと故障の原因となることがあります。
- ・ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約 1 m です。お早めに新しいロールペーパーに交換してください。



印字用紙を「レシート」として使う場合、付属品の「ジャーナル巻き取りホルダ」は使用しませんので、大切に保管しておいてください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消耗品のセットと交換 (2/3)

ロールペーパーをセットする (ジャーナル)

印字用紙を「ジャーナル」として使う場合の、ロールペーパーのセット方法を以下に示します。

手順

- 1** モードスイッチを「登録」の位置にします。



- 2** プリントオープンキー (OPEN) を押して、プリンタを開けます。



- 3** ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



- 4** ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡します。



- 5** ロールペーパーをプラテンで挟み込みながら、紙押さえ (プラテンアーム) をカチッと閉じます。



- 6** ジャーナルカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



- 7** 付属品の「ジャーナル巻き取りホルダ」の溝に、ロールペーパーの先端を差し込み、折り返した上で2~3回巻き付けます。



- 8** 「ジャーナル巻き取りホルダ」を、「ホルダ受け」にセットします。



- 9** 用紙のたるみが無くなるまで [紙送り] キーを押します。



- 10** ジャーナルカバーを取り外した逆の手順で取り付けて完了です。



参照  ロールペーパーをセットする際の注意事項は、79ページの「注意」を参照してください。

ロールペーパーを交換する（ジャーナル）

ロールペーパーが少なくなると（約 1 m）、赤い線が出てきます。この場合は、早めに新しいロールペーパーと交換してください。

ここでは、印字用紙を「ジャーナル」として使う場合の、ロールペーパーの交換方法を示します。

手順

- 1 モードスイッチを「登録」の位置にします。



- 2 ジャーナルカバーの後方部を持ち上げて、カバーを取り外します。



- 3 紙送り キーを押して 20 cm 位、ロールペーパーを空送りしてから、印字部分にかからない位置でペーパーを切り離します。



- 4 ジャーナル巻き取りホルダをホルダ受けから上へ、取り外します。



- 5 ジャーナル巻き取りホルダの左側の紙押さえ用の側板を、ずらして取り外します。



- 6 印字済み用紙をホルダから横方向にずらして外します。その後、左側の側板をセットして、ホルダを元の形に戻します。



- 7 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



参照  ロールペーパーセットの手順については、80 ページの「手順 3」以降を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消耗品のセットと交換 (3 / 3)

ロールペーパーを交換する (レシート)

ロールペーパーが少なくなると(約 1 m)、赤い線が出てきます。この場合は、早めに新しいロールペーパーと交換してください。

ここでは、印字用紙を「レシート」として使う場合の、ロールペーパーの交換方法を示します。

手順

1 モードスイッチを「登録」の位置にします。



5 ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡します。



2 プリンターオープンキー (OPEN) を押して、プリンタを開けます。



6 ロールペーパーをプラテンで挟み込みながら、プリンタをカチッと閉じます。



3 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



7 余分な紙を切り取ります。



4 ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



参照  ロールペーパーをセットする際の注意事項は、79 ページの「注意」を参照してください。

電子店名スタンプの取り付け

モードスイッチの位置



電子店名スタンプの取り付け方

電子店名スタンプができ上がってきたら、下記の手順で取り付けてください。

手順

- 1** モードスイッチを「OFF」の位置にし、レジスタの向かって右側面のカセットカバーを開けます。



- 2** 電子店名スタンプのラベル面を上にして、右図の矢印のコネクタに電子店名スタンプを奥までしっかりとめ込みます。



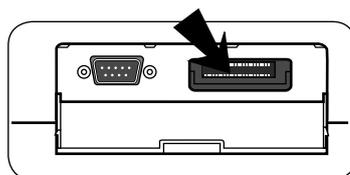
- 3** カセットカバーを閉めます。



電子店名スタンプ



RAC-10



カセットカバー内部

注意 電子店名スタンプの端子部には手や金属で触れないでください。

参照 お買い上げの状態では、電子店名スタンプを取り付けるとお申し込みいただいたロゴやサーマルポップを印字します。もし、印字しない場合は電子店名スタンプがきちんと差し込まれているかご確認下さい。また、ロゴやサーマルポップを印字する設定（74, 75ページ参照）になっているかご確認下さい。

参照 電子店名スタンプの取り付け前にロゴ/コマーシャルメッセージを設定され使用されていた場合でも、電子店名スタンプを取り付けるとそのメッセージは印字されなくなります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

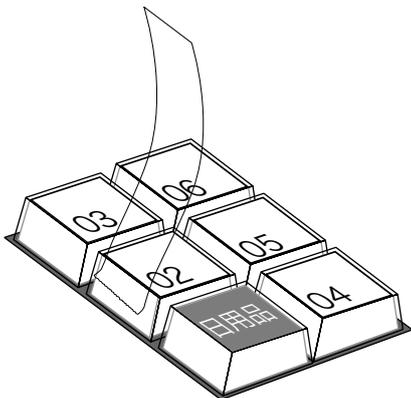
部門キーなどに商品名を記入するには

キーキャップの中に商品名などを書いた紙を入れる

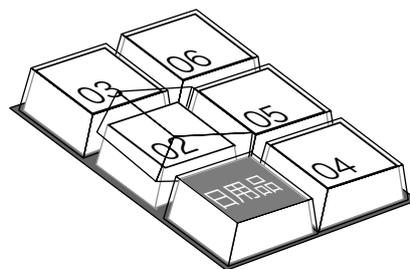
◎ 10mm 程度の幅のセロハンテープをご用意下さい。

手順

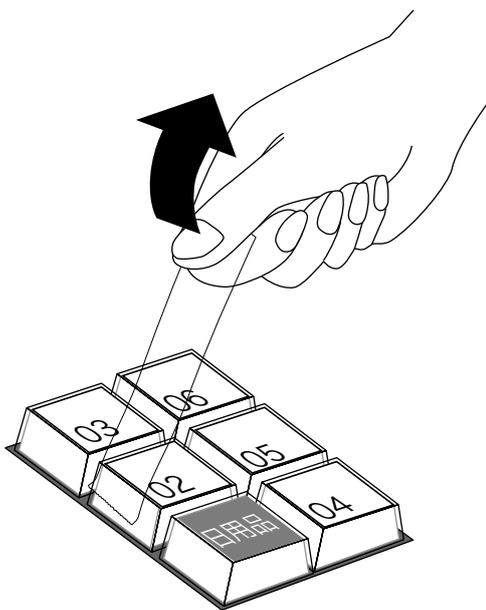
- 1** セロハンテープを 5cm 位の長さに切り、キーキャップを外すキーの肩の部分にその一端を貼り付けます。



- 3** キーキャップの片側が外れますので、キー本体からキーキャップを外し、中のキープレートを取り出します。



- 2** 貼り付けたセロハンテープの另一端を親指と人差し指で押さえ、上に手首を回すようにして引き上げます。



- 4** 新しいキープレートをキーキャップの中に入れ、紙の方向に注意しながらキー本体にかぶせ、押し込みます。

ドローアを分離して設置するには

モードスイッチの位置

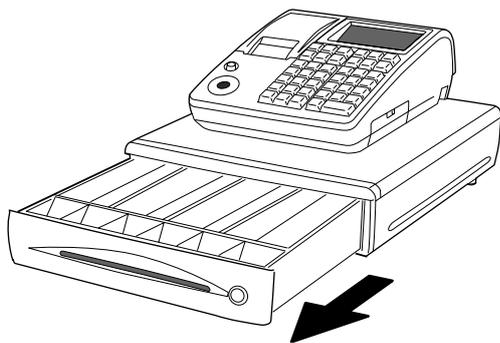


ドローアをレジスタから分離して設置する

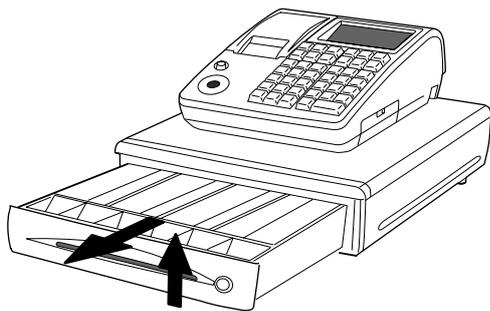
お店のレイアウトに合わせて、ドローアとレジスタ本体を分離して設置することができます。付属しているドローア延長ケーブル、レジスタ固定ゴム足、ドローア上面穴塞ぎキャップをご用意ください。

手順

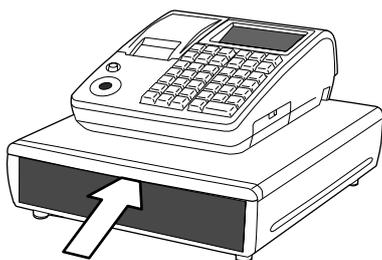
1 ドローアを開けます。



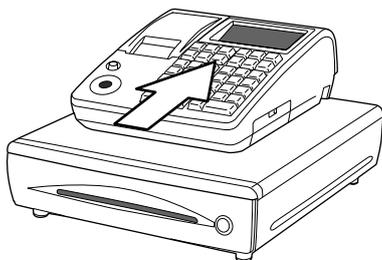
2 ドローアの引き出し部分の手前を持ち、矢印で示すように上に持ち上げるようにして取り外します。



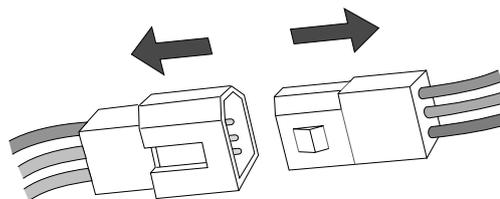
3 ドローアの内側上面（矢印で示す）にある蝶ねを左に回して取り外します。



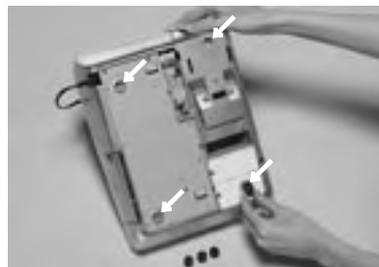
4 本体を矢印の方向にずらし、持ち上げます。



5 レジスタ本体とドローアをつなぐケーブルをコネクタ部分で抜いて、分離します。



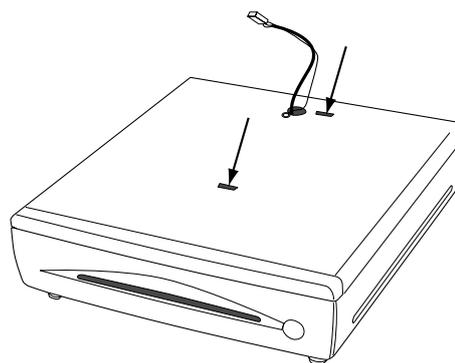
6 矢印の部分に固定ゴム足をはめ込み、レジスタ本体とドローアを所定の位置に置きます。



7 ドローア延長ケーブルを本体側とドローア側のコネクタに接続します。

8 本体とドローアを適切な位置に配置し、用紙をセットして終了です。

○必要に応じて、下図のイラストの矢印の位置の穴にドローア上面穴塞ぎ用キャップをはめ込み、穴を塞ぎます。



注意 ドローア内部に、余った延長ケーブルを入れてはいけません。分離作業によって外したねじは、レジスタとドローアを再びつなげる場合に必要になりますので、保管をお願いします。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



乾電池をセットする



乾電池はレジスタ内の日付や時刻、集計数値などを停電時に保護する働きがあります。

手順

- 1 レジスタの向かって左側面にある電池ケースを開けます。



- 2 新しい電池を3本、⊕⊖に注意して、電池ケースに確実にセットします。



- 3 電池ケースを閉じます。



⚠ 注意 電池を入れずに使用すると、日付や時刻、集計数値が消えることがあります。

これらの作業は、

1. モードスイッチを OFF にして
2. 電源プラグを AC 電源に差した状態で
行なってください。

乾電池を交換する

表示窓の上側に“電池切れです”が表示された場合は、乾電池が寿命であることを示しています。

この場合は、以下の手順で新しい乾電池と交換してください。

手順

- 1 レジスタの向かって左側面にある電池ケースを開けます。



- 2 古い電池を3本とも取り出します。



- 3 新しい電池を3本、⊕⊖に注意して、電池ケースに確実にセットします。



- 4 電池ケースを閉じます。



⚠ 注意 ・電池交換中は、差し込みプラグをコンセントから抜かないでください。
・乾電池は、3本とも同じ種類の新しい電池を使ってください。

仕様

型式	TE-300 (10 部門) ストロークキー方式 2キーロールオーバー
表示部	本体表示：キャラクタ部 16 文字、数値部 10 桁 液晶表示 (バックライト付き) 客用表示：数値部 8 桁 LED 表示 (背面固定式)
印字部	サーマルプリンタ方式 印字速度 約 14 行/秒 印字桁数 各 24 桁 (半角文字の場合) 記録紙 幅 57 ~ 58 mm、外径 80mm 以下の感熱記録紙 (消耗品欄参照) 店名ロゴ印字 縦 21mm x 横 48mm の範囲でデザイン可 (レシートに自動印字) 用紙カット レシートで使用の場合、ギザ歯で手動カット 用紙巻取 ジャーナルで使用の場合、自動巻き取り 領収書発行 必要に応じて領収書の発行が可能
最大演算桁数	置数・預かり金 (10 桁: 0 ~ 9,999,999,999) 登録 (7 桁: -9,999,999 ~ 9,999,999) 合計 (10 桁: -999,999,999 ~ 9,999,999,999) リピート (6 桁: -999,999 ~ 999,999) ノアド (14 桁: 0 ~ 9999999999999999) %レート (整数 2 桁+小数 2 桁: 0.01 ~ 99.99%) 税率 (整数 2 桁+小数 4 桁: 0.0001 ~ 99.9999%) 乗算数量 (整数 4 桁+小数 2 桁: 0.01 ~ 9999.99)
電卓機能	加減乗除計算 最大計算桁数は置数 10 桁 答え 10 桁 (負数のときは 9 桁)
ドロア	紙幣 3 種・硬貨 6 種 ドロアロック錠付き、コイントレーは取り外し可
時計・日付機能	月差 ± 30 秒 (通電状態 25°C において) 2099 年までフルオートカレンダー
メモリ保護	単 3 アルカリ乾電池 x 3 本使用 記憶保持 約 3 年 3 年ごとに交換のこと
電源・消費電力	AC 100V ± 10V 50/60Hz 10W
周囲温度・湿度	0°C ~ 40°C 10% ~ 90%
外形寸法	幅 330mm 奥行 360mm 高さ 198mm (ドロア含む) 幅 219mm 奥行 293mm 高さ 104mm (本体のみ)
重量	約 4.7 Kg (ドロア含む)
オプション	電子店名スタンプ: RAC-10 (店名ロゴ・領収書ロゴ・サーマルポップ用) 防水カバー: WT-88
消耗品	記録紙 TRP-5880-TW (紙幅 58mm、外径 80mm の普通タイプ感熱記録紙) (ロールペーパー) TRP-5880H-TW (紙幅 58mm、外径 80mm の高保存タイプ感熱記録紙)

●ウエルドラインについて

外観にスジのようにみえる箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。強度等も問題なく、ご使用にはまったく支障ありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本マニュアルの著作権、およびマニュアル中に記載されているソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が所有しております。カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには本マニュアルおよびソフトウェアの一部または全部を問わず、複製し頒布することを禁じます。

本マニュアルおよびソフトウェアは、将来予告なしに変更することがあります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

用語集

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。
必要に応じて参照してください。

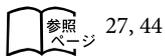
●後レシート発行

通常、レシートの発行をしていないお店で、お客様からレシートを要求された場合、後レシートを発行してお渡しします。



●ありだか在高

ドリアの中にある現金やクレジット伝票などの合計金額のことです。



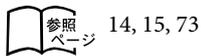
●一部現金売り

取引の支払いを現金やクレジット1種類ではなく、一部を現金、一部を商品券などで支払う形式のことをいいます。



●一連番号

レシートの番号です。レシートを発行するごとに1ずつ足されます。



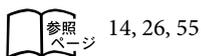
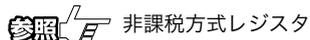
●一括取消

入力ミスなどでレシートを最初からやり直したいときに一括取消をします。



●内税方式（内税方式レジスタ）

内掛けの消費税を計算して、お客様からの消費税の預かり額を累計する方式にした、レジスタのことです。



●オプション

ご使用方法によっては使っていただくと便利なものを別売で用意させていただいております。それをオプションと呼んでいます。



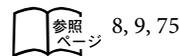
●期間集計

長い期間（例えば、一週間、旬日、一月など）の売上の合計を知ることができるレポートです。



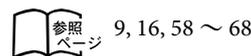
●客用表示

お客様に商品の登録金額や合計金額などを示すための表示器です。



●キャラクタ

部門キーやPLU、取引キーやメッセージなどに設定される文字をいいます。



●券売り

商品券売りに使用します。



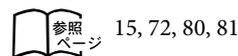
●さかのぼり訂正

商品登録中に、同一レシート中での登録の間違えを訂正することです。



●ジャーナル

印字で残される営業記録のことです。本機では印字用紙はレシート用かジャーナル用か、どちらかにしか使えません。レシート用としてお使いの場合、電子ジャーナルで営業記録を取ることができます。ジャーナルを印字で残す場合、印字後のジャーナルはレジスタ本体内に自動的に巻き取られます。



●ジャーナルスキップ

ジャーナル（前出）用紙の消費を少なくするため部門など商品明細の印字をせず、一連番号（前出）や取引合計金額などを印字することです。



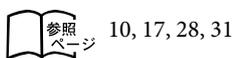
● 出金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアから出すことです。ドロア内の現金を回収するときなどにお使いください。



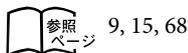
● 乗算

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、買い上げ個数と単価を入力して（掛け算で）合計金額を算出することです。数量×単価または単価×数量の2種類の入力方法を選べます。



● シンボル

表示の状態を示すインジケータやレシート上に印字する略号です。「合計」や「お釣」を表示している状態を示したり、内税の「内」、非課税の「非」などのことを示します。



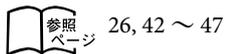
● 信用売り

クレジットカードなど、お釣りが発生しないで支払われる場合の売上げにお使いください。



● 精算

業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスタの中の売上金額などは（翌日の営業のために）ゼロになります。



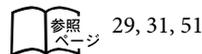
● 設定

レジスタの機能を選択したり、パーセント率や単価をレジスタに覚えさせたりすることです。



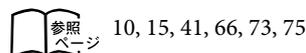
● 単価設定

商品単価をレジスタに覚えさせることです。同じ単価が多く使われる場合、単価設定すると便利です。



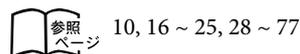
● 担当者

レジスタを操作している取扱者のことです。レシート上に担当者の番号あるいは名前を印字したり、担当者別の売上額を集計することができます。



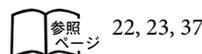
● 置数

数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。



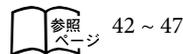
● 訂正

レジスタに入力した事柄（数字や機能指定）が間違っていた場合、それを取り消すことです。取消ができるときとできないときがあります。



● 点検

業務の途中に売上金額などをレポートとして発行することです。レジスタの中の売上金額はそのまま保存されます。



● 電子店名スタンプ

別売のオプションです。レシートに印字する、オリジナルの店名ロゴスタンプや領収書に印字する、社名ロゴ・会社所在地などを焼き付けた小さなカートリッジです。別添の申込書でお申し込みください。



●登録

レジスタにお買い上げ商品の単価や数量、預かり金などを入力して、レシートを発行するまでの一連の操作のことです。

 16 ~ 25, 28 ~ 41

●日計明細

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計（日計）を商品分類や取引形態など（明細）に分けて発行します。

 26, 42, 43, 44

●入金

商品の売上に直接関係のないお金をドロア内に入れることです。釣銭準備などをするときにお使いください。

 11, 34

●値引き

赤札などがあった場合に使用します。赤札上の「～円引」の金額が合計金額から引かれます。

 11, 35

●背景印字

レシートや領収書に、薄い文字や模様を背景として印字することができます。他店との差別化のため、または特売サービス引換券などのためにお使いください。

 53

●パーセント計算

割引き・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法をいいます。

 割引き

 11, 36, 52, 71

●PLU（ピーエルユー）：Price Look Up の略

プライスルックアップ（単価呼出し）のことです。主にコード指定後のPLUキーによる単価呼出し、またはその登録のことです。PLUに設定されるのは、主に（商品の分類ではなく）個々の商品（単品）です。

 10, 30, 31, 45, 51, 58

●非課税方式（非課税方式レジスタ）

消費税を計算しないレジスタです。お客様から消費税をお預かりしない場合にお使いください。

 内税方式レジスタ

 14, 54

●品番 PLU

品番で指定される商品を登録するときに用います。

 PLU（ピーエルユー）

 10, 30, 31

●不加算印字

商品コード、お客様番号や電話番号など、合計金額には関係しない数値を「おぼえ」のために印字することです。

 11, 32

●部門

お店の商品の分類です。例えば、食料品 / 雑貨品 / 日用品、鮮魚 / 精肉 / 青果、お食事 / お飲み物などの分類があります。

 11, 16 ~ 25, 28, 29

●ブラテンアーム（紙押さえ）

プリンタ部分にある、印字用紙を挟み込むローラとそれを支えている腕のことです。用紙交換後には、これがカチッと閉められているかを確認してください。

 8, 79, 80

●返品

お客様がお買い上げの商品をお返しになったとき、返品処理をしてください。



●丸め（5円丸め／10円丸め）

合計金額の端数（5円未満または10円未満）が出ないように、それを値引くことです。値引いた金額はお店側の負担になります。



●万円キー（万券キー）

一万円札の預かり時に使用すると、明細レポート上に一万円札の枚数が印字されます。



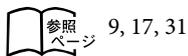
●呼び出し機能

割り勘のためにレシートの合計を電卓モードで使用したり、電卓モードでの計算結果を登録に使ったりする場合に、その数値を持ってくることです。



●リピート

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、その都度商品単価を入力しないで、部門キーをお買い上げ個数分押ししたりして、手軽に登録することです。



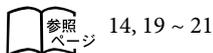
●両替

本来の両替(大きなお金を細かくする)ばかりでなく、商品取引以外にドローアを開ける必要ができたときに両替をします。



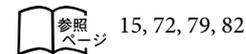
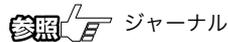
●領収書

レシートとは別の書式の領収書が発行できます。



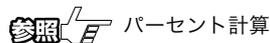
●レシート

お客様にお渡しする領収書代わりの紙券です。



●割引き

全品一律10%引きなどのときに使用します。全品一律でなくても、商品一つだけに対しても使用することができます。



保証およびアフターサービス

保証とアフターサービス

保証書はよくお読みください

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

保証書（別に添付しています）は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

まず78ページの「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、直らないときは次の処置をしてください。

●保証期間中は……

保証書の規定のとおり、お買い上げの販売店、またはカシオサービスセンターが修理をさせていただきます。保証書をご用意の上、お客様相談センターへご連絡ください。

●保証期間を過ぎているときは……

お買い上げの販売店、またはお客様相談センターへご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービスなどについて疑問なことは

お買い上げの販売店、またはお客様相談センターにお問い合わせください。

カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

消耗品のお申し込み

お買い上げの販売店へ機種名を告げてお申し込みください。

TE-300 の消耗品

ロールペーパー：
紙幅 58 mm × 外径 80 mm (感熱記録紙)
普通タイプ TRP-5880-TW 高保存タイプ TRP-5880H-TW
乾電池：単3形アルカリ乾電池 [LR6 (AM-3)]

お客様相談窓口

- 製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
- 修理の受付、お電話による問診をいたします。また、必要に応じて修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター



0570-001166

市内通話料金のみでご使用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30
(日曜・祝日・年末年始などを除く)

携帯電話・PHSなどをご利用の場合は、03-5294-7315（東京）をご利用ください。

カシオサービスセンター

- | | | |
|--------|-------|--------------------|
| ●北海道札幌 | ●関東多摩 | ●近畿神戸 |
| ●東北盛岡 | ●関東横浜 | ●中国岡山 |
| ●仙台 | ●信越新潟 | ●広島 |
| ●関東宇都宮 | ●長野 | ●四国高松 |
| ●水戸 | ●北陸金沢 | ●九州福岡 |
| ●高崎 | ●東海静岡 | ●熊本 |
| ●埼玉 | ●名古屋 | ●鹿児島 |
| ●千葉 | ●近畿京都 | ※その他、26箇所の出張所があります |
| ●東京 | ●大阪 | |

レジスタの回収再資源化について

- カシオ計算機では、2001年4月よりご使用済みとなりましたレジスタの回収・再資源化を有償で行なっております。回収のお申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.casio.co.jp/env/recycle/pc.html>

店名・住所

販売店（問い合わせ先）を明記しておきましょう



()

担当者